

FW専用ファンド(プレミアムコース) ファンド・オブ・ファンズ ハンドブック

PREMIUM



指定投資信託証券(投資対象ファンド)の一覧①

(作成基準日：2025年3月31日)

※作成基準日現在のものであり、今後、変更となる可能性があります。

ファンド名	指定投資信託証券(投資対象ファンド)	運用会社	掲載ページ
FWりそな円建債券 アクティブファンド	明治安田日本債券アクティブ・ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	明治安田アセットマネジメント株式会社	5
	アムンディ円債アクティブ・ファンド(適格機関投資家専用)	アムンディ・ジャパン株式会社	6
	りそな日本債券ファンド・コア・アクティブ(適格機関投資家専用)	りそなアセットマネジメント株式会社	7
	ネオ・ジャパン債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	8
	RM国内債券マザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	39
	ネオ・ヘッジ付債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	9
	キャリーエンハンス・グローバル債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	10
	Oneヘッジ付外国債券アクティブファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	アセットマネジメントOne株式会社	11
	グローバル債券アクティブオープン(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	SBI岡三アセットマネジメント株式会社	12
	RM先進国債券マザーファンド(為替ヘッジあり)	りそなアセットマネジメント株式会社	39
FWりそな国内株式 アクティブファンド	ダイワ・ジャパン・オープン(FOFs用)(適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	13
	ダイワ・バリュー株・オープン(FOFs用)(適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	14
	りそな日本株リサーチ戦略ファンド(適格機関投資家専用)	アムンディ・ジャパン株式会社	15
	りそな国内株式グローバル企業ファンド(適格機関投資家専用)	りそなアセットマネジメント株式会社	16
	りそな国内株式・高株主還元ファンド(適格機関投資家専用)	りそなアセットマネジメント株式会社	17
	RM国内株式マザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	40

●上記指定投資信託証券(投資対象ファンド)は、「りそなファンドラップ(プレミアムコース)」の各ファンドの投資対象として委託会社が選定したもので、一般の投資家が直接、投資することはできません。

指定投資信託証券(投資対象ファンド)の一覧②

(作成基準日：2025年3月31日)

※作成基準日現在のものであり、今後、変更となる可能性があります。

ファンド名	指定投資信託証券(投資対象ファンド)	運用会社	掲載ページ
FWりそな先進国債券 アクティブファンド	三菱UFJ国際 海外債券オープン(適格機関投資家限定)	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	18
	ノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド(適格機関投資家専用)	野村アセットマネジメント株式会社	19
	グローバル債券コア・ファンド(適格機関投資家専用)	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社	20
	ブランディワイン外国債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社	21
	Amundi Funds US・コーポレート・ボンド	アムンディ・アセットマネジメント・US・インク	22
	RM先進国債券マザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	41
FWりそな先進国＋ 新興国債券 アクティブファンド	三菱UFJ国際 海外債券オープン(適格機関投資家限定)	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	18
	ノムラFOFs用・海外アクティブ債券ファンド(適格機関投資家専用)	野村アセットマネジメント株式会社	19
	グローバル債券コア・ファンド(適格機関投資家専用)	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社	20
	ブランディワイン外国債券ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社	21
	Amundi Funds US・コーポレート・ボンド	アムンディ・アセットマネジメント・US・インク	22
	RM先進国債券マザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	41
	GIM FOFs用新興国現地通貨ソブリン・ファンドF(適格機関投資家専用)	JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社	23
	エマージング債券ファンド(為替戦略型)(FoFs用)(適格機関投資家専用)	SOMPOアセットマネジメント株式会社	24
	RM新興国債券マザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	41

●上記指定投資信託証券(投資対象ファンド)は、「りそなファンドラップ(プレミアムコース)」の各ファンドの投資対象として委託会社が選定したもので、一般の投資家が直接、投資することはできません。

指定投資信託証券(投資対象ファンド)の一覧③

(作成基準日：2025年3月31日)

※作成基準日現在のものであり、今後、変更となる可能性があります。

ファンド名	指定投資信託証券(投資対象ファンド)	運用会社	掲載ページ
FWりそな先進国株式 アクティブファンド	シュローダー先進国外国株式ファンド(適格機関投資家専用)	シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社	25
	インターナショナル株式ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	26
	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	アライアンス・バーンスタイン株式会社	27
	フィデリティ・欧州株・ファンド(適格機関投資家専用)	フィデリティ投信株式会社	28
	りそな先進国厳選株式ファンド(適格機関投資家専用)	りそなアセットマネジメント株式会社	29
	ダイワ／ニューメリック 外国株式戦略(FOFs用)(適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	30
	RM先進国株式マザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	42
FWりそな先進国＋ 新興国株式 アクティブファンド	シュローダー先進国外国株式ファンド(適格機関投資家専用)	シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社	25
	インターナショナル株式ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	26
	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	アライアンス・バーンスタイン株式会社	27
	フィデリティ・欧州株・ファンド(適格機関投資家専用)	フィデリティ投信株式会社	28
	りそな先進国厳選株式ファンド(適格機関投資家専用)	りそなアセットマネジメント株式会社	29
	ダイワ／ニューメリック 外国株式戦略(FOFs用)(適格機関投資家専用)	大和アセットマネジメント株式会社	30
	RM先進国株式マザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	42
	アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド(適格機関投資家専用)	アライアンス・バーンスタイン株式会社	31
	シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF(適格機関投資家専用)	シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社	32
	ロベコ・QIエマージング・マーケット・アクティブ・エクイティ	ロベコ・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・ビーヴィ	33
	RM新興国株式マザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	42

●上記指定投資信託証券(投資対象ファンド)は、「りそなファンドラップ(プレミアムコース)」の各ファンドの投資対象として委託会社が選定したもので、一般の投資家が直接、投資することはできません。

※作成基準日現在のものであり、今後、変更となる可能性があります。

ファンド名	指定投資信託証券(投資対象ファンド)	運用会社	掲載ページ
FWりそな絶対収益 アクティブファンド	ニッセイ・リスク抑制型バランスファンド(適格機関投資家専用)	ニッセイアセットマネジメント株式会社	34
	FOFs用GBCAファンドR(適格機関投資家専用)	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	35
	りそな国内株式マーケットニュートラル(FoFs用)(適格機関投資家専用)	りそなアセットマネジメント株式会社	36
	スパークス・ファンド・匠(FOFs用)(適格機関投資家専用)	スパークス・アセット・マネジメント株式会社	37
	りそな0-5年円建公社債ラダー型ファンド(適格機関投資家専用)	りそなアセットマネジメント株式会社	38
	RMマネーマザーファンド	りそなアセットマネジメント株式会社	40

●上記指定投資信託証券(投資対象ファンド)は、「りそなファンドラップ(プレミアムコース)」の各ファンドの投資対象として委託会社が選定したもので、一般の投資家が直接、投資することはできません。

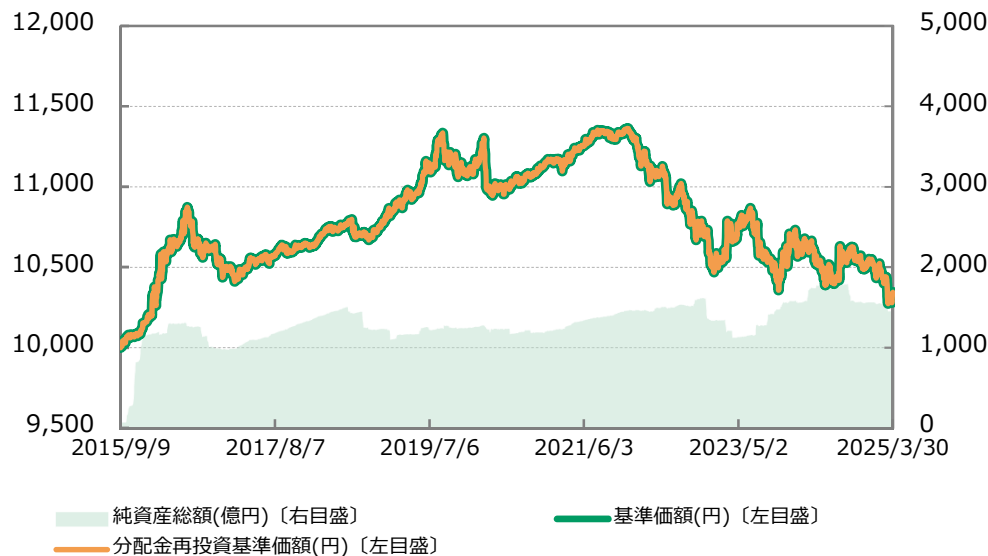
明治安田日本債券アクティブ・ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)

(作成基準日：2025年3月31日)

実質的な投資対象	国内の債券	ベンチマーク	NOMURA-BPI総合
設定日	2015年9月9日	運用管理費用 (信託報酬)	年率上限0.308% (税抜上限0.28%)
運用会社	明治安田アセットマネジメント株式会社		

運用の概要	ファンダメンタルズ分析を重視した、主に金利や信用力の変化を的確に捉えることで超過収益の獲得を目指す債券運用です。
選定のポイント	経験豊富な運用メンバーと一貫したファンダメンタルズ分析手法によって安定的な超過収益の獲得が期待できます。

基準価額・純資産総額の推移



特性値	
平均残存年数	8.15
最終利回り	2.35%
直接利回り	1.59%
修正デュレーション	7.99
銘柄数	164

※ 修正デュレーションはオプション等を考慮した数値です。

債券種別資産配分	
債券種別	組入比率
国債	24.1%
社債	62.2%
国際機関債/政府保証債/政府機関債	0.0%
モーゲージ債	1.7%
地方債	0.0%
その他	10.6%
合計	98.6%

※ その他は、ユーロ円債と円建外債です。

格付別資産配分	
格付	組入比率
AAA	25.4%
AA	6.4%
A	56.8%
BBB	10.0%
BB以下	0.0%
無格付	0.0%
合計	98.6%

残存年限別資産配分	
残存年数	組入比率
1年未満	8.5%
1年以上3年未満	22.3%
3年以上7年未満	33.7%
7年以上11年未満	13.8%
11年以上	20.4%
合計	98.6%

組入上位5銘柄

	銘柄名	格付	種別	償還日	組入比率
1	第2回武田薬品工業社債(劣後特約付)	A	社債	2029/6/25	3.8%
2	第191回利付国債20年	AAA	国債	2044/12/20	3.7%
3	第458回利付国債2年	AAA	国債	2026/3/1	3.3%
4	第470回利付国債2年	AAA	国債	2027/3/1	3.1%
5	第1回住友化学社債(劣後特約付)	A	社債	2029/12/13	2.5%

※ 繰上償還条項が付与されている銘柄は、最初の繰上償還可能日を表示しています。

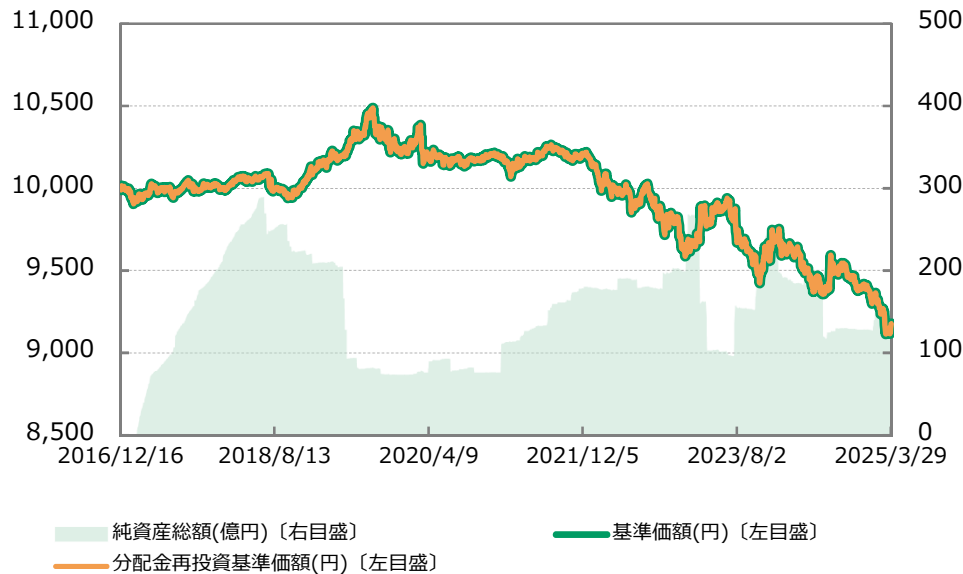
● 上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。● 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。● 上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。● 上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

アムンディ円債アクティブ・ファンド(適格機関投資家専用)

(作成基準日：2025年3月31日)

実質的な投資対象	国内の債券	ベンチマーク	NOMURA-BPI総合
設定日	2016年12月16日	運用管理費用 (信託報酬)	年率上限0.407% (税抜上限0.37%)
運用会社	アムンディ・ジャパン株式会社		
運用の概要	ポートフォリオ全体の利回りを高く維持するために、クレジット戦略や住宅支援機構債への積極的な投資に加え、国債イールドカーブ戦略を通じて超過収益を狙います。		
選定のポイント	経験豊かなスタッフにより構成される運用チームは安定感があり、収益源泉へのアプローチ手法が明瞭です。		

基準価額・純資産総額の推移



特性値	
平均残存年数	9.60
最終利回り	1.56%
直接利回り	1.04%
修正デュレーション	8.53
銘柄数	91

債券種別資産配分	
債券種別	組入比率
国債	73.8%
社債	2.8%
国際機関債/政府保証債/政府機関債	0.0%
モーゲージ債	7.4%
地方債	0.0%
その他	15.8%
合計	99.8%

格付別資産配分	
格付	組入比率
AAA	81.6%
AA	3.2%
A	9.8%
BBB	5.1%
BB以下	0.0%
無格付	0.0%
合計	99.8%

残存年限別資産配分	
残存年数	組入比率
1年未満	1.5%
1年以上3年未満	30.2%
3年以上7年未満	12.1%
7年以上11年未満	29.1%
11年以上	27.0%
合計	99.8%

組入上位5銘柄					
	銘柄名	格付	種別	償還日	組入比率
1	第377回利付国債(10年)	AAA	国債	2034/12/20	10.2%
2	第462回利付国債(2年)	AAA	国債	2026/07/01	5.3%
3	第374回利付国債(10年)	AAA	国債	2034/03/20	4.7%
4	第375回利付国債(10年)	AAA	国債	2034/06/20	4.6%
5	第460回利付国債(2年)	AAA	国債	2026/05/01	4.2%

●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

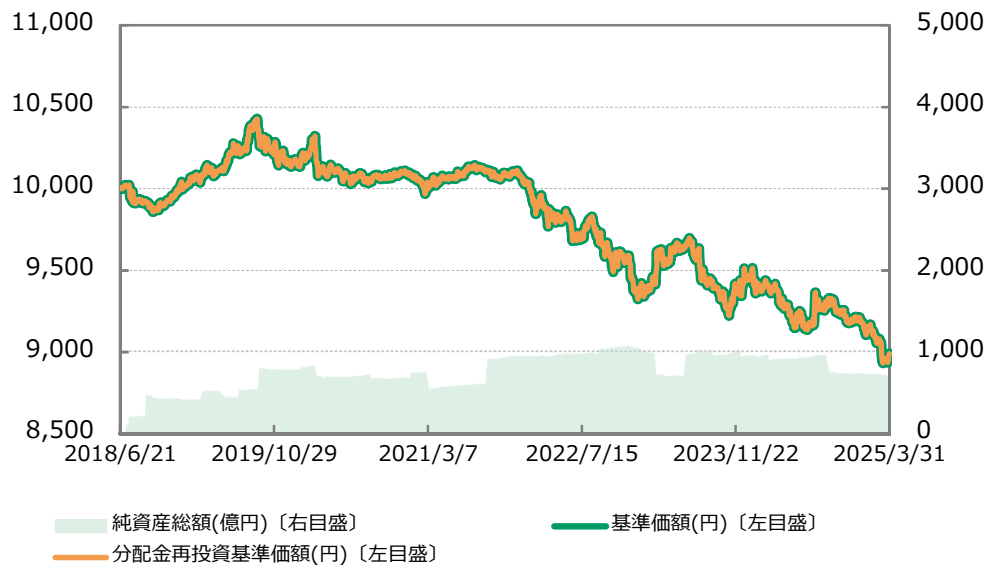
りそな日本債券ファンド・コア・アクティブ(適格機関投資家専用)

(作成基準日：2025年3月31日)

実質的な投資対象	国内の債券	ベンチマーク	NOMURA-BPI総合
設定日	2018年6月21日	運用管理費用 (信託報酬)	年率上限0.319% (税抜上限0.29%)
運用会社	りそなアセットマネジメント株式会社		

運用の概要	金融・財政政策や債券需給・政策動向の分析により金利の方向性を予測し、機動的なデュレーションとイールドカーブの調整を行う金利戦略を中心として超過収益の獲得を目指す運用です。
選定のポイント	一貫した運用プロセスが、経験豊かな運用チームにより実現されており、安定的な超過収益の獲得が期待できます。

基準価額・純資産総額の推移



特性値	
平均残存年数	10.62
最終利回り	1.68%
直接利回り	1.30%
修正デュレーション	8.62
銘柄数	117

債券種別資産配分	
債券種別	組入比率
国債	53.8%
社債	40.3%
国際機関債/政府保証債/政府機関債	0.0%
モーゲージ債	1.1%
地方債	0.0%
その他	2.8%
合計	97.9%

格付別資産配分	
格付	組入比率
AAA	2.9%
AA	9.2%
A	77.4%
BBB	5.7%
BB以下	0.0%
無格付	2.8%
合計	97.9%

残存年限別資産配分	
残存年数	組入比率
1年未満	4.3%
1年以上3年未満	22.0%
3年以上7年未満	33.2%
7年以上11年未満	8.3%
11年以上	30.2%
合計	97.9%

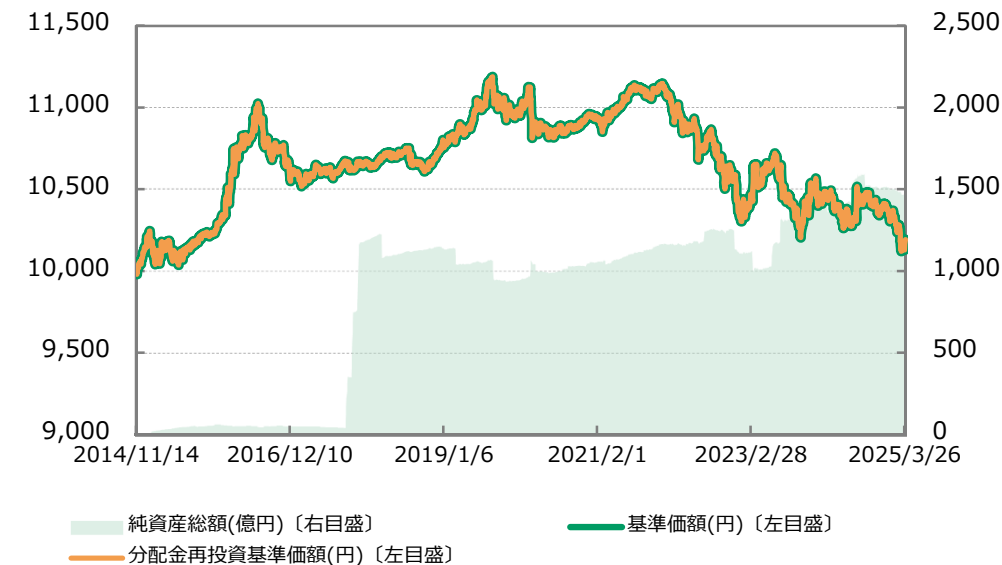
組入上位5銘柄					
	銘柄名	格付	種別	償還日	組入比率
1	第177回利付国債(5年)	A+	国債	2029/12/20	11.7%
2	第85回利付国債(30年)	A+	国債	2054/12/20	8.2%
3	第176回利付国債(5年)	A+	国債	2029/12/20	7.0%
4	第373回利付国債(10年)	A+	国債	2033/12/20	4.6%
5	第84回利付国債(30年)	A+	国債	2054/9/20	3.6%

●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	国内の債券	ベンチマーク	—
設定日	2014年11月14日	運用管理費用 (信託報酬)	年率上限0.374% (税抜上限0.34%)
運用会社	大和アセットマネジメント株式会社		

運用の概要	市場のファンダメンタル分析および市場見通し、個別の発行体や銘柄のボトムアップリサーチ等に基づき、主に金利戦略とクレジット戦略を組み合わせることにより総合的に超過収益の獲得を目指します。
選定のポイント	潜在的な収益機会に着目し、徹底した定性的・定量的分析に基づく一貫した運用プロセスにより、中長期的に安定したリターンの獲得が期待できます。

基準価額・純資産総額の推移



特性値	
平均残存年数	-
最終利回り	2.33%
直接利回り	1.56%
修正デュレーション	8.18
銘柄数	169

債券種別資産配分	
債券種別	組入比率
国債	40.2%
社債	55.2%
国際機関債/政府保証債/政府機関債	0.0%
モーゲージ債	0.0%
地方債	0.0%
その他	2.2%
合計	97.6%

格付別資産配分	
格付	組入比率
AAA	40.8%
AA	2.4%
A	44.7%
BBB	9.5%
BB以下	0.3%
無格付	0.0%
合計	97.6%

残存年限別資産配分	
残存年数	組入比率
1年未満	1.3%
1年以上3年未満	5.4%
3年以上7年未満	3.2%
7年以上11年未満	15.7%
11年以上	71.9%
合計	97.6%

組入上位5銘柄					
	銘柄名	格付	種別	償還日	組入比率
1	4 ソフトバンクG劣後FR	BBB+	事業債	2056/02/04	3.0%
2	2 武田薬品劣後FR	A	事業債	2084/06/25	3.0%
3	376 10年国債	AAA	国債	2034/09/20	2.9%
4	3 野村HD劣後FR	A-	事業債	-	2.7%
5	13三井住友FG劣FR	A	事業債	-	2.3%

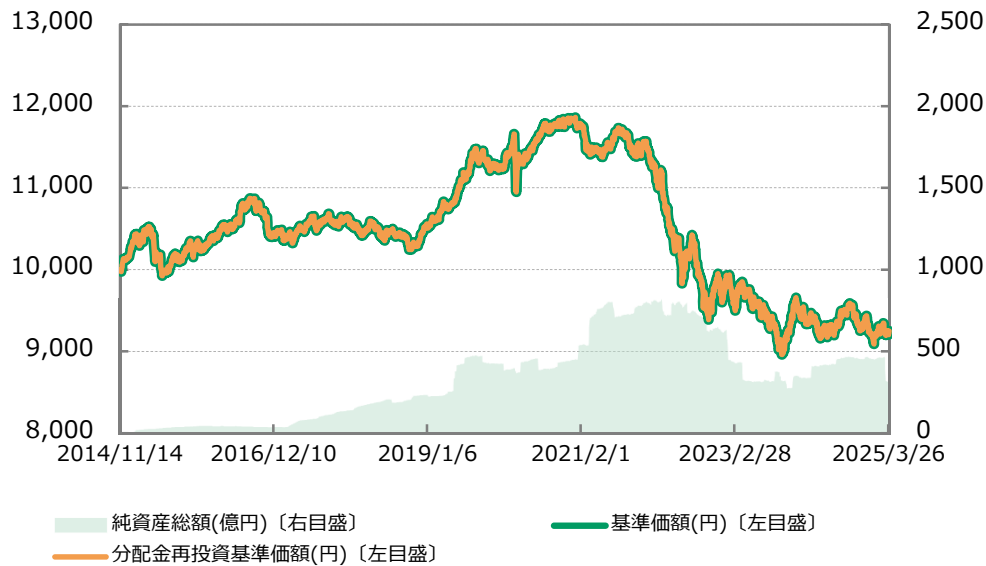
※ 償還日の記載がない銘柄は、永久劣後債です。

●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	世界主要国（日本を除く）の 公社債	ベンチ マーク	－
設定日	2014年11月14日	運用管理費用 (信託報酬)	年率0.473% (税抜0.43%)
運用会社	大和アセットマネジメント株式会社		

運用の概要	先進国通貨建て債券に投資し、為替変動リスクを低減するための為替ヘッジを行います。各国の長短金利の状況、信用環境、流動性等を考慮しポートフォリオを構築します。
選定のポイント	各運用担当者の役割が明確化されていて運用チームが収益の獲得に集中できる体制が確保されています。

基準価額・純資産総額の推移



特性値	
平均残存年数	8.16
最終利回り	4.22%
直接利回り	3.93%
修正デュレーション	7.00
為替ヘッジ比率	87.2%
銘柄数	101

債券種別資産配分	
債券種別	組入比率
国債	56.8%
社債	26.2%
国際機関債/政府保証債/政府機関債	0.0%
モーゲージ債	14.4%
地方債	0.3%
その他	0.0%
合計	97.6%

格付別資産配分	
格付	組入比率
AAA	37.7%
AA	30.5%
A	26.5%
BBB	3.0%
BB以下	0.0%
無格付	0.0%
合計	97.6%

通貨別資産配分	
通貨	組入比率
米ドル	56.8%
ユーロ	30.0%
オフショア人民元	4.9%
豪ドル	2.8%
英ポンド	2.3%
その他	3.3%
合計	100.0%

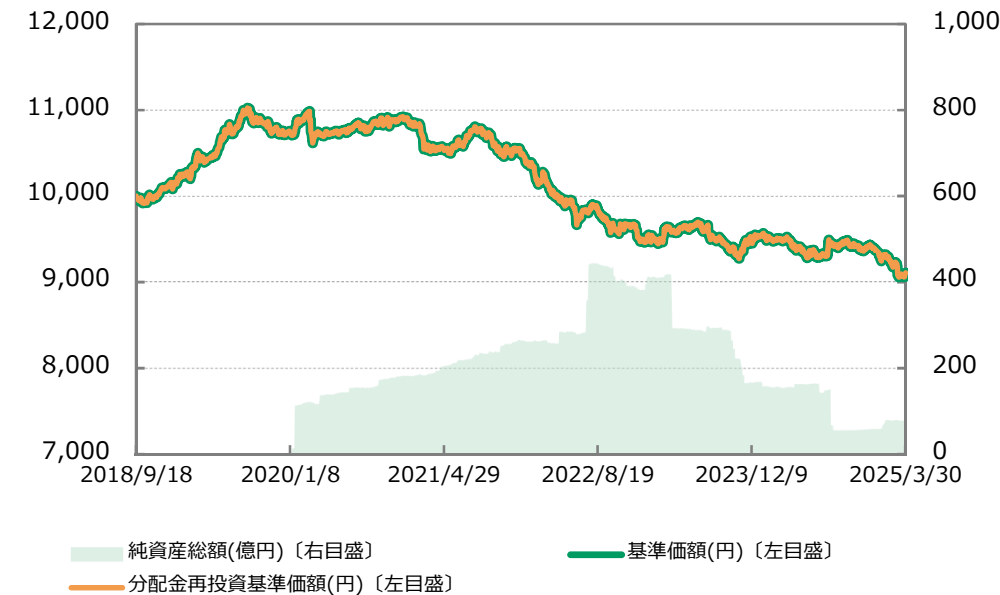
組入上位5銘柄						
	銘柄名	格付	種別	通貨	償還日	組入比率
1	AUSTRIA GOVERNMENT BOND	AA+	国債	ユーロ	2034/02/20	7.2%
2	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	AAA	国債	米ドル	2033/11/15	5.4%
3	ITALIAN GOVERNMENT BOND	A	国債	ユーロ	2033/11/01	5.1%
4	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	AAA	国債	米ドル	2029/02/28	4.9%
5	SPANISH GOVERNMENT BOND	AA	国債	ユーロ	2033/10/31	3.7%

●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	世界主要国（日本を含む）の公社債	ベンチマーク	-
設定日	2018年9月18日	運用管理費用（信託報酬）	年率0.1485%（税抜0.135%）
運用会社	三井住友DS アセットマネジメント株式会社		

運用の概要	リスク調整後のキャリー収益が魅力的な世界のソブリン債に投資するとともに、ポートフォリオのリスクを一定の範囲内でコントロールし、安定的な収益の獲得を目指す運用です。
選定のポイント	明瞭な運用方針と運用プロセスにより一貫性のある運用が実現されており、安定的な収益の獲得が期待できます。

基準価額・純資産総額の推移



●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

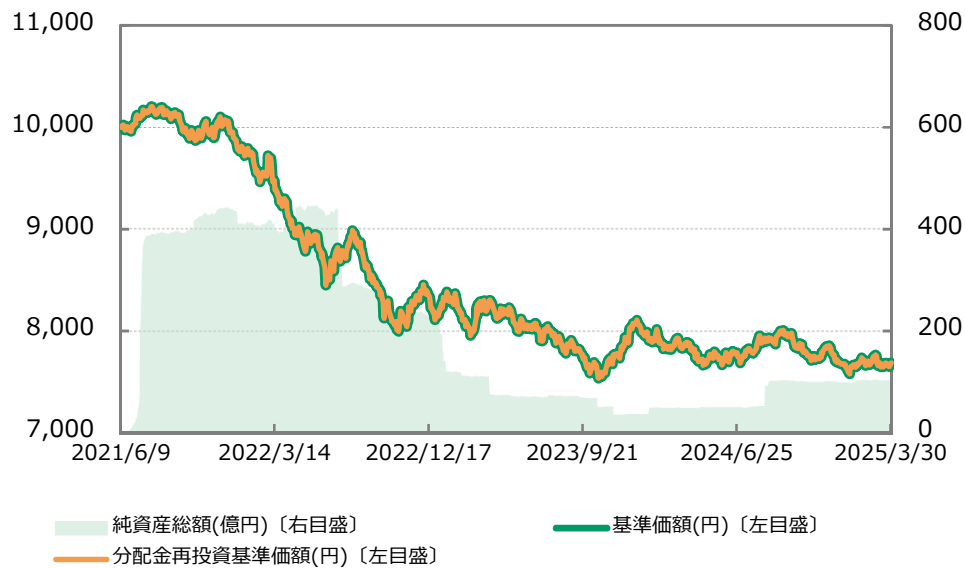
特性値		債券種別資産配分	
平均残存年数	7.22	債券種別	組入比率
最終利回り	1.59%	国債	97.7%
直接利回り	1.11%	社債	0.0%
修正デュレーション	6.75	国際機関債/政府保証債/政府機関債	0.0%
為替ヘッジ比率	99.0%	モーゲージ債	0.0%
銘柄数	7	地方債	0.0%
		その他	0.0%
		合計	97.7%

格付別資産配分		通貨別資産配分	
格付	組入比率	通貨	組入比率
AAA	0.0%	日本円	83.1%
AA	83.1%	ユーロ	14.6%
A	0.0%	-	-
BBB	14.6%	-	-
BB以下	0.0%	-	-
無格付	0.0%	その他	0.0%
合計	97.7%	合計	97.7%

組入上位5銘柄						
	銘柄名	格付	種別	通貨	償還日	組入比率
1	463 2年国債	AA+	国債	日本円	2026/8/1	27.7%
2	376 10年国債	AA+	国債	日本円	2034/9/20	26.5%
3	375 10年国債	AA+	国債	日本円	2034/6/20	13.7%
4	BUONI POLIENNALI DEL TES 3.85 07/01/34	BBB+	国債	ユーロ	2034/7/1	12.8%
5	374 10年国債	AA+	国債	日本円	2034/3/20	8.0%

実質的な投資対象	世界主要国（日本を除く）の 公社債	ベンチ マーク	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース、 為替ヘッジあり)
設定日	2021年6月10日	運用管理費用 (信託報酬)	年率0.3575% (税抜0.325%)
運用会社	アセットマネジメントOne株式会社		
運用の概要	構造分析による金融市場の長期トレンドを認識した上で、循環分析および市場分析を併せて 行うこと で中期および短期トレンドにも配慮した運用戦略により、安定的な 超過収益の獲得を目指す運用です。		
選定のポイント	一貫した運用プロセスが経験豊富な運用者によって実現されており、安定的な超過収益の獲得が期待できます。		

基準価額・純資産総額の推移



特性値	
平均残存年数	8.39
最終利回り	3.67%
直接利回り	3.02%
修正デュレーション	6.77
為替ヘッジ比率	100.6%
銘柄数	46

債券種別資産配分	
債券種別	組入比率
国債	98.4%
社債	0.0%
国際機関債/政府保証債/政府機関債	0.0%
モーゲージ債	0.0%
地方債	1.4%
その他	0.0%
合計	99.8%

格付別資産配分	
格付	組入比率
AAA	60.8%
AA	16.4%
A	13.0%
BBB	9.7%
BB以下	0.0%
無格付	0.0%
合計	99.8%

通貨別資産配分	
通貨	組入比率
米ドル	49.4%
ユーロ	28.7%
中国人民元	7.6%
英ポンド	5.3%
豪ドル	2.4%
その他	6.5%
合計	100.0%

組入上位5銘柄

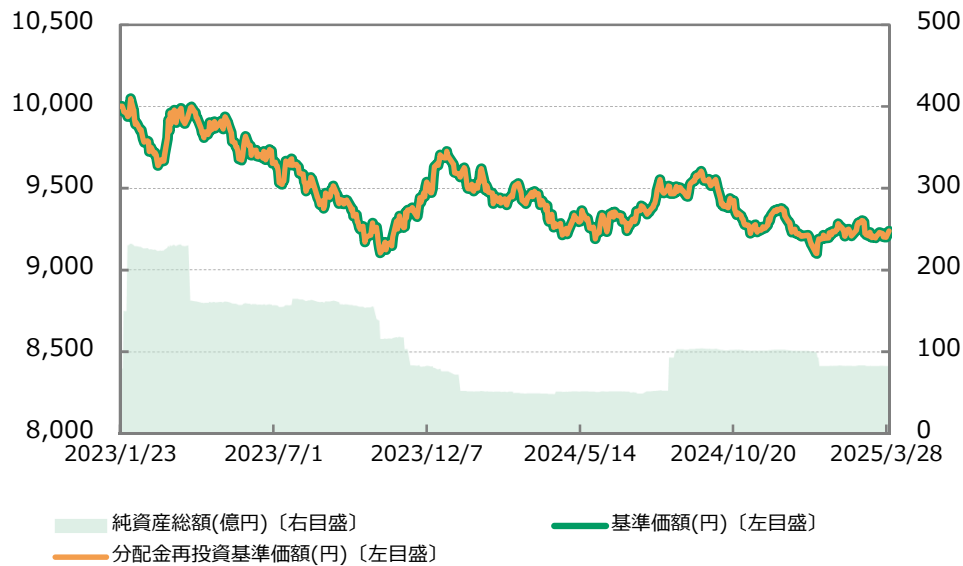
	銘柄名	格付	種別	通貨	償還日	組入比率
1	US T N/B 2.25 11/15/27	AAA	国債	米ドル	2027/11/15	11.0%
2	US T N/B 1.75 01/31/29	AAA	国債	米ドル	2029/1/31	8.0%
3	US T N/B 4.125 11/15/32	AAA	国債	米ドル	2032/11/15	6.0%
4	US T N/B 4.125 03/31/31	AAA	国債	米ドル	2031/3/31	5.6%
5	US T N/B 4.375 05/15/34	AAA	国債	米ドル	2034/5/15	4.7%

●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	世界主要国（日本を含む）の公社債	ベンチマーク	FTSE 世界国債インデックス（円ヘッジ・円ベース）
設定日	2023年1月23日	運用管理費用（信託報酬）	年率0.418%（税抜0.380%）
運用会社	SBI岡三アセットマネジメント株式会社		

運用の概要	主に先進国のソブリン債と社債、新興国のソブリン債を投資対象とし、ベンチマークからの乖離を抑制しつつ、定量的アプローチと定性的アプローチ、トップダウン判断とボトムアップ判断を組み合わせることにより、金利・通貨・国別配分等の戦略から総合的に超過収益の獲得を目指します。実際の運用はAllianz Global Investors UK Limitedが行います。
選定のポイント	独自の定量ツールを用いた定量分析と定性判断の組み合わせにより、グローバルな投資機会を的確に捉えることで長期的なリターンの獲得が期待できます。

基準価額・純資産総額の推移



特性値	
平均残存年数	7.95
最終利回り	3.10%
直接利回り	2.46%
修正デュレーション	6.37
為替ヘッジ比率	103.1%
銘柄数	86

債券種別資産配分	
債券種別	組入比率
国債	81.0%
社債	7.9%
国際機関債/政府保証債/政府機関債	0.9%
モーゲージ債	0.0%
地方債	0.1%
その他	0.0%
合計	89.9%

格付別資産配分	
格付	組入比率
AAA	43.6%
AA	11.1%
A	22.2%
BBB	13.0%
BB以下	0.0%
無格付	0.0%
合計	89.9%

通貨別資産配分	
通貨	組入比率
米ドル	47.2%
ユーロ	19.8%
日本円	11.8%
英ポンド	9.7%
中国人民元	6.9%
その他	4.5%
合計	100.0%

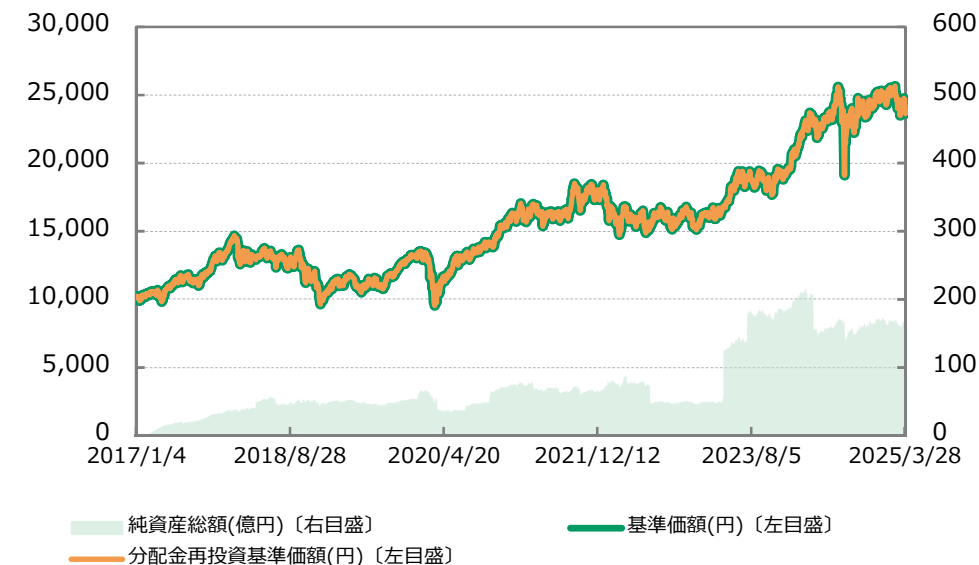
組入上位5銘柄						
	銘柄名	格付	種別	通貨	償還日	組入比率
1	US TREASURY N/B 1.625	AAA	国債	米ドル	2031/5/15	9.7%
2	US TREASURY N/B 4.5	AAA	国債	米ドル	2026/7/15	5.7%
3	US TREASURY N/B 3.125	AAA	国債	米ドル	2028/11/15	4.3%
4	US TREASURY N/B 4.25	AAA	国債	米ドル	2034/11/15	3.9%
5	CHINA GOVT BOND 2.67	A	国債	中国人民元	2033/5/25	3.2%

●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	国内の株式	ベンチマーク	TOPIX（配当込み）
設定日	2017年1月4日	運用管理費用（信託報酬）	年率0.704%（税抜0.64%）
運用会社	大和アセットマネジメント株式会社		

運用の概要	調査・分析等をもとに投資する銘柄を選定し、その積み上げによりポートフォリオを組成します。割高と判断される銘柄を除外して投資することを基本とします。
選定のポイント	充実した調査体制を擁し、企業アナリストと運用担当者の協働により効果的な銘柄選択を実現しています。

基準価額・純資産総額の推移



属性	
予想PER（倍）	21.2
PBR（倍）	2.6
配当利回り	1.5%
銘柄数	68

※ 予想PERはポートフォリオ全体の時価総額÷純利益として算出しています。純利益は、実績値ではなく予想値を用いています。

※ PBRはポートフォリオ全体の時価総額÷純資産として算出しています。純資産は、実績値を用いています。

※ 配当利回りはポートフォリオ全体の配当金÷時価総額として算出しています。配当金は、実績値を用いています。

業種別資産配分	
業種	組入比率
電気機器	26.3%
情報・通信業	10.5%
機械	8.3%
化学	8.2%
その他製品	7.5%
その他	33.9%
合計	94.7%

※ 東証33業種の分類を基準としています。

組入上位5銘柄

	銘柄名	業種	組入比率
1	ソニーグループ	電気機器	8.2%
2	リクルートホールディングス	サービス業	5.2%
3	キーエンス	電気機器	4.8%
4	日立製作所	電気機器	3.4%
5	住友電工	非鉄金属	3.4%

※ 業種は東証33業種の分類を基準としています。

規模別資産配分	
規模	組入比率
大型	67.1%
中型	25.4%
小型	2.2%
その他	0.0%
合計	94.7%

※ 大型：TOPIX100
中型：TOPIX Mid400
小型：TOPIX Small

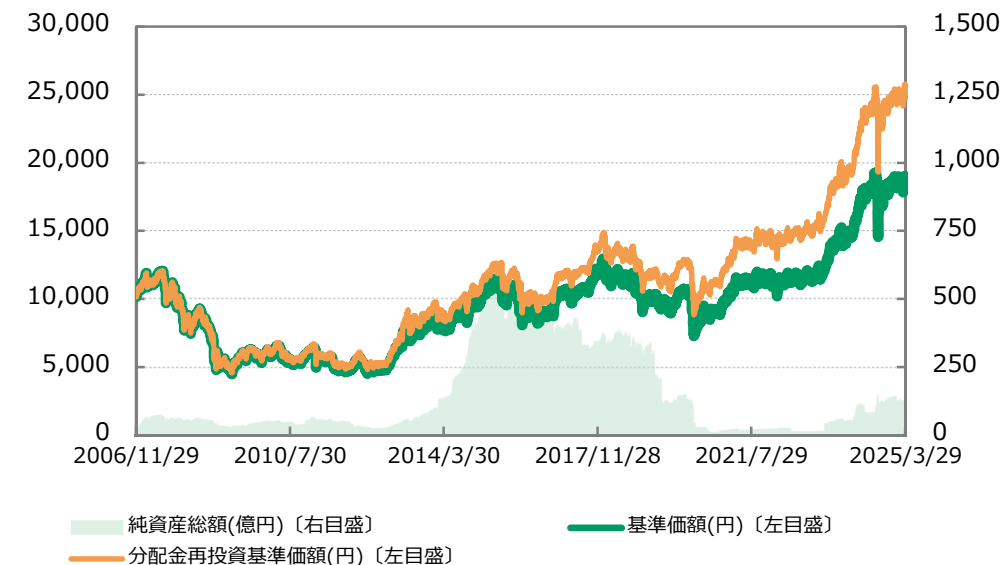
株式市場・上場別資産配分	
市場名	組入比率
東証プライム	94.7%
東証スタンダード	0.00%
東証グロース	0.0%
その他	0.0%
合計	94.7%

●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	国内の株式	ベンチマーク	TOPIX（配当込み）
設定日	2006年11月29日	運用管理費用（信託報酬）	年率0.583%（税抜0.53%）
運用会社	大和アセットマネジメント株式会社		

運用の概要	日本株式に投資します。取得時に株価収益率、株価純資産倍率などの指標または株価水準から見て割安と判断される銘柄のうち、今後株価の上昇が期待される銘柄に投資します。
選定のポイント	充実した調査体制を擁し、企業アナリストと運用担当者の協働により効果的な銘柄選択を実現しています。

基準価額・純資産総額の推移



●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

属性	
予想PER（倍）	13.1
PBR（倍）	1.2
配当利回り	3.1%
銘柄数	109

※ 予想PERはポートフォリオ全体の時価総額÷純利益として算出しています。純利益は、実績値ではなく予想値を用いています。

※ PBRはポートフォリオ全体の時価総額÷純資産として算出しています。純資産は、実績値を用いています。

※ 配当利回りはポートフォリオ全体の配当金÷時価総額として算出しています。配当金は、実績値を用いています。

規模別資産配分	
規模	組入比率
大型	52.6%
中型	34.5%
小型	9.4%
その他	0.0%
合計	96.5%

※ 大型：TOPIX100
 中型：TOPIX Mid400
 小型：TOPIX Small

業種別資産配分	
業種	組入比率
銀行業	12.4%
電気機器	12.2%
機械	8.8%
情報・通信業	7.2%
輸送用機器	6.4%
その他	49.6%
合計	96.5%

※ 東証33業種の分類を基準としています。

株式市場・上場別資産配分	
市場名	組入比率
東証プライム	96.5%
東証スタンダード	0.0%
東証グロース	0.0%
その他	0.0%
合計	96.5%

組入上位5銘柄

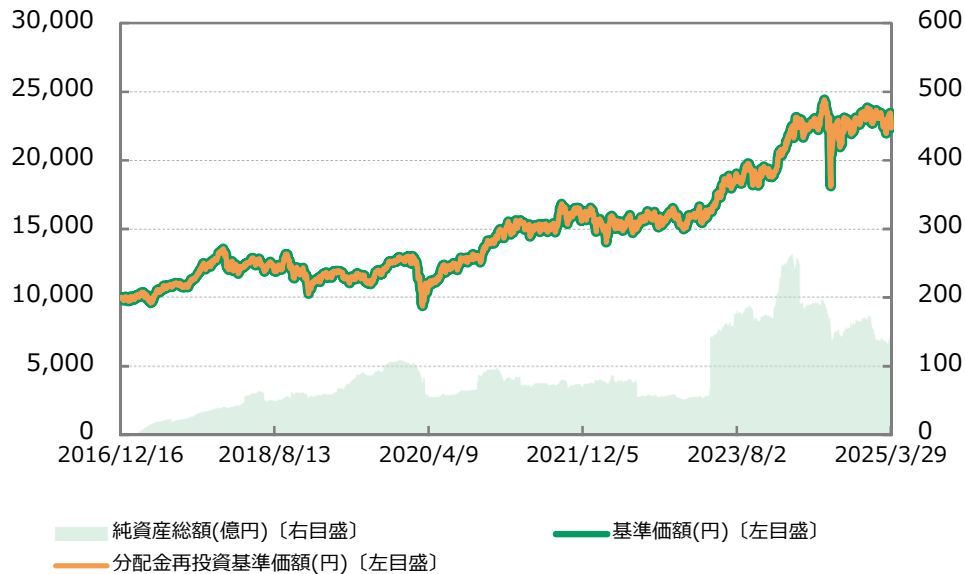
	銘柄名	業種	組入比率
1	東京海上ホールディングス	保険業	4.5%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.4%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	4.1%
4	小松製作所	機械	3.7%
5	トヨタ自動車	輸送用機器	3.6%

※ 業種は東証33業種の分類を基準としています。

実質的な投資対象	国内の株式	ベンチマーク	－
設定日	2016年12月16日	運用管理費用 (信託報酬)	年率0.715% (税抜0.65%)
運用会社	アムンディ・ジャパン株式会社		

運用の概要	バリューやグロースといった特定のスタイルにこだわることなく、投資環境と個別銘柄の分析において自社の予測と市場の共通認識との差異を捉え収益獲得を目指します。
選定のポイント	運用者、アナリスト、ストラテジストの緻密な連携により投資環境に左右されない収益の獲得が期待できます。

基準価額・純資産総額の推移



●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

属性	
予想PER（倍）	14.2
PBR（倍）	2.5
配当利回り	2.3%
銘柄数	63

規模別資産配分	
規模	組入比率
大型	84.3%
中型	13.6%
小型	0.0%
その他	0.0%
合計	97.9%

※ 大型：時価総額1兆円以上
中型：時価総額1000億円以上1兆円未満
小型：時価総額1000億円未満

業種別資産配分	
業種	組入比率
電気機器	23.3%
銀行業	12.8%
情報・通信業	9.1%
輸送用機器	6.6%
保険業	5.0%
その他	41.1%
合計	97.9%

※ 東証33業種の分類を基準としています。

株式市場・上場別資産配分	
市場名	組入比率
東証プライム	97.9%
東証スタンダード	0.0%
東証グロース	0.0%
その他	0.0%
合計	97.9%

組入上位5銘柄			
	銘柄名	業種	組入比率
1	ソニーグループ	電気機器	5.4%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.7%
3	トヨタ自動車	輸送用機器	4.5%
4	日立製作所	電気機器	4.2%
5	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	4.0%

※ 業種は東証33業種の分類を基準としています。

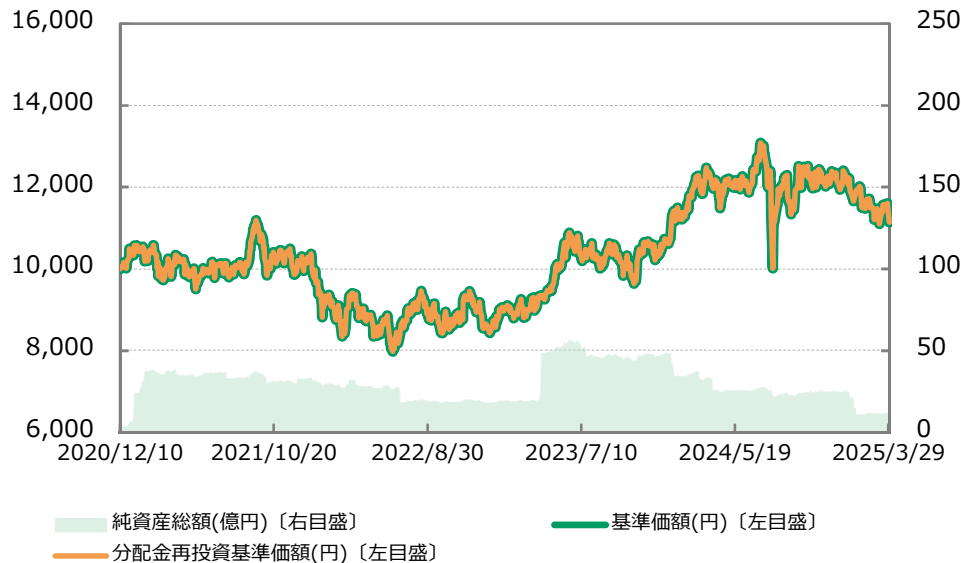
りそな国内株式グローバル企業ファンド(適格機関投資家専用)

(作成基準日：2025年3月31日)

実質的な投資対象	国内の株式	ベンチマーク	－
設定日	2020年12月10日	運用管理費用 (信託報酬)	年率0.583% (税抜0.53%)
運用会社	りそなアセットマネジメント株式会社		

運用の概要	グローバル市場を勝ち抜く強い競争力を持ち、持続的な成長が期待できる国内企業を厳選して投資する運用です。
選定のポイント	経験豊富なメンバーによる独自の競争力評価に則った調査・分析に基づく銘柄選択で、中長期的に株式市場を上回るリターンの獲得が期待できます。

基準価額・純資産総額の推移



属性	
予想PER (倍)	17.1
PBR (倍)	2.2
配当利回り	1.6%
銘柄数	36

※ 予想PERはポートフォリオ全体の時価総額÷純利益として算出しています。純利益は実績値ではなく予想値を用いています。

※ PBRはポートフォリオ全体の時価総額÷純資産として算出しています。純資産は実績値を用いています。

※ 配当利回りはポートフォリオ全体の配当金÷時価総額として算出しています。配当金は実績値を用いています。

業種別資産配分	
業種	組入比率
電気機器	19.8%
医薬品	9.4%
情報・通信業	9.1%
輸送用機器	7.9%
化学	7.7%
その他	44.1%
合計	98.0%

※ 東証33業種の分類を基準としています。

組入上位5銘柄			
	銘柄名	業種	組入比率
1	ソニーグループ	電気機器	7.2%
2	トヨタ自動車	輸送用機器	6.5%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	5.9%
4	HOYA	精密機器	5.4%
5	ペプチドリーム	医薬品	4.7%

※ 業種は東証33業種の分類を基準としています。

規模別資産配分	
規模	組入比率
大型	80.2%
中型	13.7%
小型	4.1%
その他	0.0%
合計	98.0%

※ 大型：時価総額1兆円以上
中型：時価総額2000億円以上1兆円未満
小型：時価総額2000億円未満

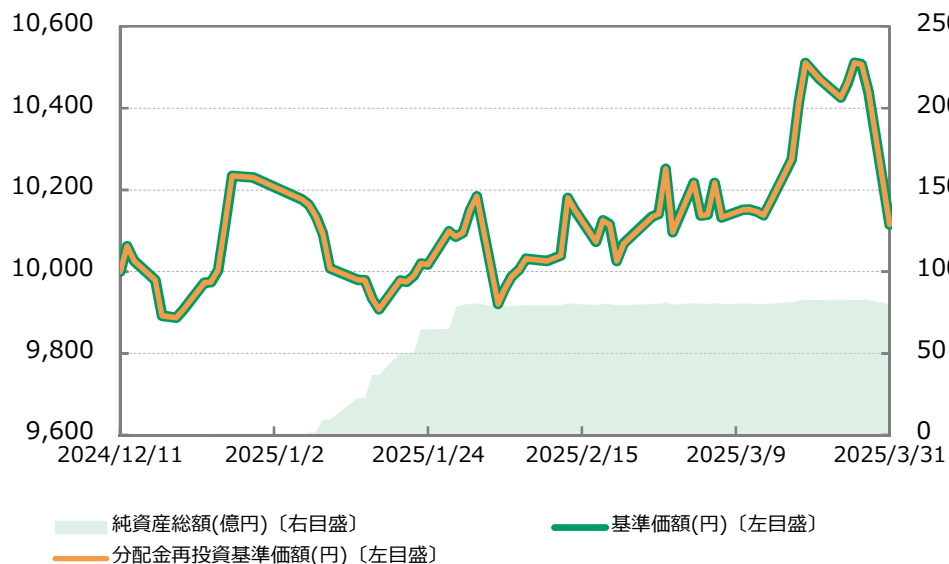
株式市場・上場別資産配分	
市場名	組入比率
東証プライム	98.0%
東証スタンダード	0.0%
東証グロース	0.0%
その他	0.0%
合計	98.0%

●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドが投資対象とするマザーファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	国内の株式	ベンチマーク	－
設定日	2024年12月11日	運用管理費用 (信託報酬)	年率0.308% (税抜0.280%)
運用会社	りそなアセットマネジメント株式会社		

運用の概要	企業の総還元利回り（配当利回り＋自社株買い）に着目した銘柄選択に基づき、より経営の質が高く利益を安定的に創出可能な企業を定量的に選出し、ポートフォリオを構築するクオンツ戦略です。
選定のポイント	定量モデルを活用し長期的に有効な総還元利回りファクターへの投資を行うことで、長期安定的に市場指数（TOPIX）を上回るリターンを獲得が期待できます。

基準価額・純資産総額の推移



属性	
予想PER（倍）	9.9
PBR（倍）	1.1
配当利回り	3.0%
銘柄数	57

※ 予想PERはポートフォリオ全体の時価総額÷純利益として算出しています。純利益は実績値ではなく予想値を用いています。
※ PBRはポートフォリオ全体の時価総額÷純資産として算出しています。純資産は実績値を用いています。
※ 配当利回りはポートフォリオ全体の配当金÷時価総額として算出しています。配当金は実績値を用いています。

業種別資産配分	
業種	組入比率
輸送用機器	15.9%
卸売業	13.2%
海運業	11.8%
食料品	7.2%
機械	6.9%
その他	43.3%
合計	98.2%

※ 東証３３業種の分類を基準としています。

組入上位5銘柄

	銘柄名	業種	組入比率
1	三菱商事	卸売業	4.9%
2	三井物産	卸売業	4.9%
3	MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス	保険業	4.9%
4	リクルートホールディングス	サービス業	4.8%
5	商船三井	海運業	4.7%

※ 業種は東証３３業種の分類を基準としています。

規模別資産配分	
規模	組入比率
大型	70.2%
中型	24.6%
小型	3.3%
その他	0.0%
合計	98.2%

※ 大型：時価総額1兆円以上
中型：時価総額2000億円以上1兆円未満
小型：時価総額2000億円未満

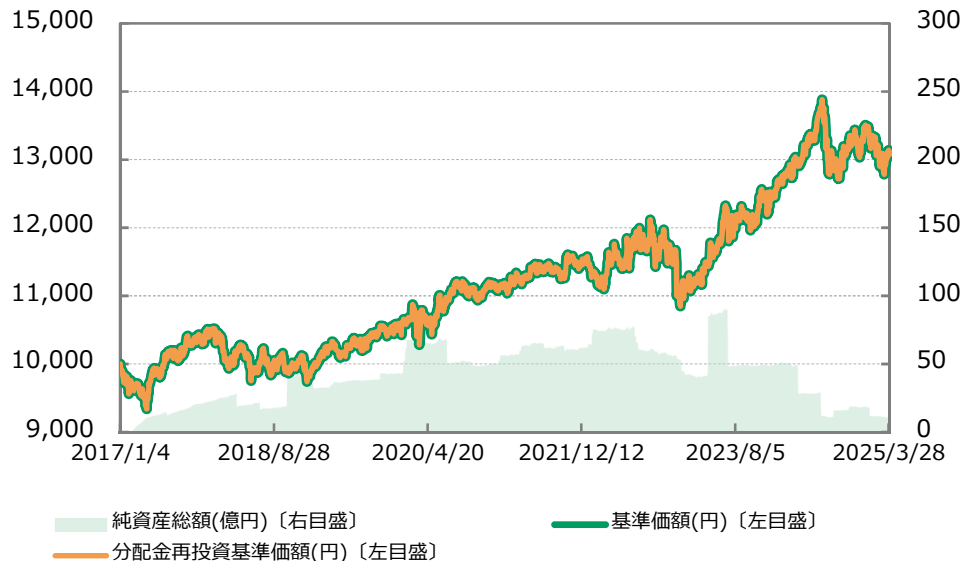
株式市場・上場別資産配分	
市場名	組入比率
東証プライム	98.2%
東証スタンダード	0.0%
東証グロース	0.0%
その他	0.0%
合計	98.2%

● 上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。● 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。● 上記組入比率は当ファンドが投資対象とするマザーファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。● 上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	世界主要国（日本を除く）の 公社債	ベンチ マーク	FTSE世界国債インデックス （除く日本・円ベース）
設定日	2017年1月4日	運用管理費用 （信託報酬）	年率0.495% （税抜0.45%）
運用会社	三菱UFJアセットマネジメント株式会社		

運用の概要	わが国を除く世界主要国の債券を投資対象とし、マクロ経済分析や金利予想に基づき、国別配分や金利感応度などを調整することで、債券や通貨から生じる超過収益の獲得をめざします。
選定のポイント	相場予測のポイントを絞り、合理的判断を追求することで運用の一貫性を確保していることが評価できます。

基準価額・純資産総額の推移



特性値	
平均残存年数	12.03
最終利回り	3.91%
直接利回り	3.43%
修正デュレーション	6.58
銘柄数	81

債券種別資産配分	
債券種別	組入比率
国債	81.5%
社債	0.3%
国際機関債/政府保証債/政府機関債	4.0%
モーゲージ債	12.3%
地方債	0.0%
その他	0.0%
合計	98.1%

格付別資産配分	
格付	組入比率
AAA	57.1%
AA	14.1%
A	18.3%
BBB	8.6%
BB以下	0.0%
無格付	0.0%
合計	98.1%

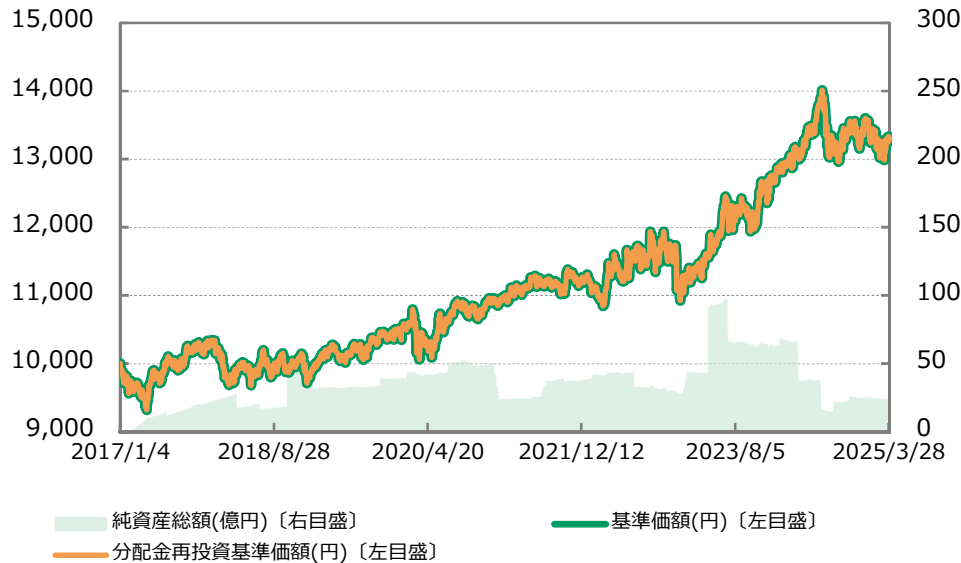
通貨別資産配分	
通貨	組入比率
米ドル	48.0%
ユーロ	23.1%
中国人民元	8.2%
英ポンド	5.3%
ポーランドズロチ	4.2%
その他	9.5%
合計	98.1%

組入上位5銘柄						
	銘柄名	格付	種別	通貨	償還日	組入比率
1	4 T-NOTE 310131	AAA	国債	米ドル	2031/1/31	6.5%
2	4.4 ITALY GOVT 330501	BBB	国債	ユーロ	2033/5/1	4.6%
3	1.875 T-NOTE 290228	AAA	国債	米ドル	2029/2/28	4.4%
4	2.62 CHINA GOVT 290925	A+	国債	中国人民元	2029/9/25	3.1%
5	4.25 T-NOTE 341115	AAA	国債	米ドル	2034/11/15	3.1%

●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	世界主要国（日本を除く）の 公社債	ベンチ マーク	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・ 円換算ベース)
設定日	2017年1月4日	運用管理費用 (信託報酬)	年率0.4895% (税抜0.445%)
運用会社	野村アセットマネジメント株式会社		
運用の概要	日本を除く世界先進主要国の国債・政府保証債を主要投資対象とし、国別の資産配分や金利感応度などを調整することにより、債券や通貨から生じる収益の獲得を目指します。		
選定のポイント	運用会社のリサーチ能力を十分発揮できるようプロセスが整備されていて、安定的な収益の獲得が期待できます。		

基準価額・純資産総額の推移



特性値	
平均残存年数	8.20
最終利回り	3.17%
直接利回り	2.85%
修正デュレーション	7.50
銘柄数	51

※ 平均残存年数は額面加重です。
※ 上記以外は経過利息除く、純資産比です。

債券種別資産配分	
債券種別	組入比率
国債	83.1%
社債	0.0%
国際機関債/政府保証債/政府機関債	5.6%
モーゲージ債	0.0%
地方債	2.5%
その他	54.5%
合計	145.7%

※ 上記は債券先物、経過利息を含みます。

格付別資産配分	
格付	組入比率
AAA	13.3%
AA	41.8%
A	23.9%
BBB	13.1%
BB以下	0.0%
無格付	53.5%
合計	145.7%

※ 格付はS&Pの格付で分類しています。
※ 上記は経過利息を含みます。
※ 無格付には先物を含みます。

通貨別資産配分	
通貨	組入比率
ユーロ	38.2%
米ドル	36.2%
中国人民元	10.2%
英ポンド	4.3%
豪ドル	2.2%
その他	8.9%
合計	100.0%

※ 上記の比率は為替予約、経過利息を含み、純資産比となります。

組入上位5銘柄						
	銘柄名	格付	種別	通貨	償還日	組入比率
1	CHINA GOVERNMENT BOND	A+	国債	中国人民元	2031/11/18	9.3%
2	US TREASURY N/B	AA+	国債	米ドル	2028/08/15	5.9%
3	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	A	国債	ユーロ	2026/07/30	5.6%
4	EFSF	AA-	国際機関債	ユーロ	2028/12/15	4.9%
5	BUONI POLIENNALI DEL TES	BBB	国債	ユーロ	2030/03/01	3.9%

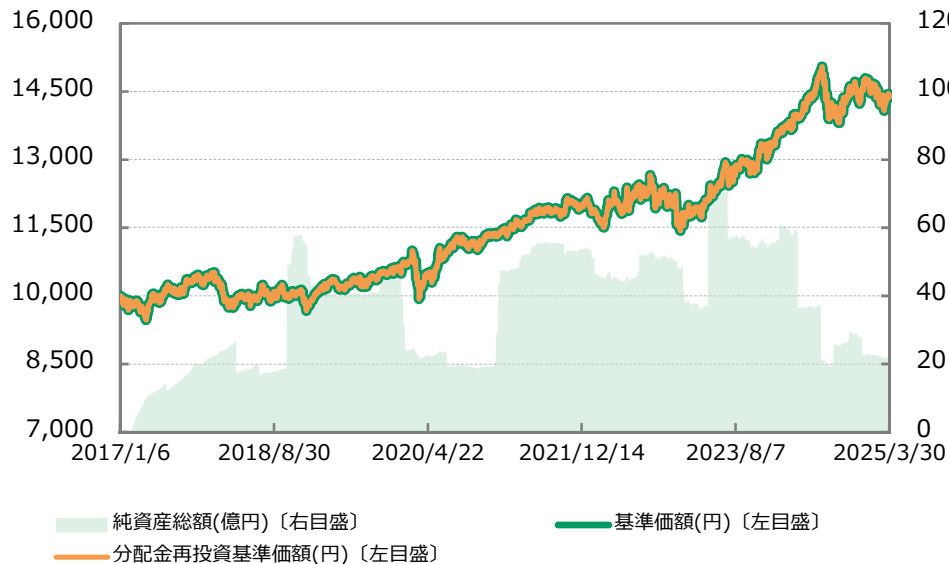
※ 格付はS&Pです。
※ 上記の比率は経過利息を含み、純資産比となります。

● 上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。● 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。● 上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。● 上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	世界主要国（日本を除く）の公社債	ベンチマーク	ブルームバーグ・グローバル・アグリゲート・インデックス（除く日本、円ベース）
設定日	2017年1月6日	運用管理費用（信託報酬）	年率0.561%（税抜0.51%）
運用会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社		

運用の概要	グローバルに展開する充実した調査体制の下、戦略毎に組成された複数の運用チームが発掘する投資機会をとらえて分散投資することで、超過収益の獲得を目指します。
選定のポイント	投資対象の戦略を幅広くもつことで、特定の戦略に依存することなく、安定した収益獲得が期待できます。

基準価額・純資産総額の推移



特性値	
平均残存年数	11.81
最終利回り	4.21%
直接利回り	-
修正デュレーション	6.07
銘柄数	511

債券種別資産配分	
債券種別	組入比率
社債	31.7%
国債	19.2%
モーゲージ証券	21.0%
アセットバック証券	11.2%
国際機関債/政府保証債/政府機関債	11.2%
その他	41.6%
合計	135.9%

格付別資産配分	
格付	組入比率
AAA	34.2%
AA	13.5%
A	25.7%
BBB	20.8%
BB以下	0.0%
無格付	41.6%
合計	135.9%

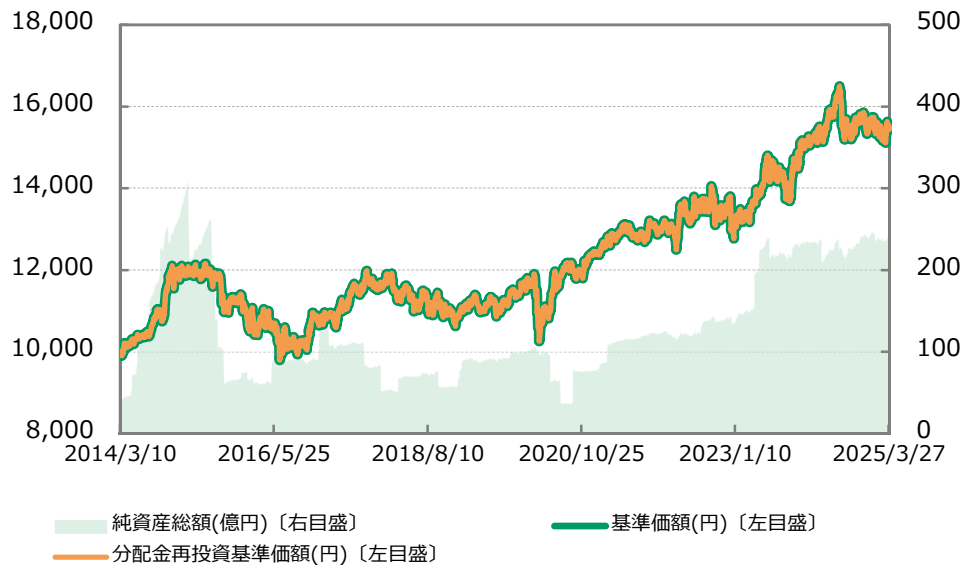
通貨別資産配分	
通貨	組入比率
米ドル	51.0%
ユーロ	25.2%
中国人民元	10.7%
英ポンド	3.8%
カナダドル	2.4%
その他	6.9%
合計	100.0%

組入上位5銘柄						
	銘柄名	格付	種別	通貨	償還日	組入比率
1	中国国債	A+	国債	中国人民元	2027/06/04	2.5%
2	シダー・ファンディング	AAA	アセットバック債	米ドル	2031/07/17	2.1%
3	カリフォルニア州	AA	政府機関債	米ドル	2040/03/01	2.0%
4	韓国国債	AA	国債	韓国ウォン	2029/06/10	1.8%
5	ファニーメイ	AAA	モーゲージ債	米ドル	2051/12/01	1.8%

●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	世界主要国（日本を除く）の 公社債	ベンチ マーク	－
設定日	2014年3月10日	運用管理費用 (信託報酬)	年率0.418% (税抜0.38%)
運用会社	フランクリン・templトン・ジャパン株式会社		
運用の概要	長期的視点に基づいた経済・金利・通貨のサイクルに対する見通しを持ち、実質金利が高いと判断できる国の債券に投資し、通貨を管理することで、収益の獲得を目指す運用です。		
選定のポイント	一貫した運用プロセスが、経験豊かな運用チームにより実現されており、安定的な収益の獲得が期待できます。		

基準価額・純資産総額の推移



特性値		債券種別資産配分	
平均残存年数	16.86	債券種別	組入比率
最終利回り	5.07%	国債	67.0%
直接利回り	4.89%	社債	2.0%
修正デュレーション	6.63	国際機関債/政府保証債/政府機関債	0.9%
銘柄数	32	モーゲージ債	26.2%
		地方債	0.0%
		その他	0.0%
		合計	96.1%

格付別資産配分		通貨別資産配分	
格付	組入比率	通貨	組入比率
AAA	7.0%	ユーロ	45.5%
AA	72.3%	米ドル	24.2%
A	5.6%	メキシコペソ	8.7%
BBB	10.3%	カナダドル	7.0%
BB以下	0.9%	韓国ウォン	6.2%
無格付	0.0%	その他	8.5%
合計	96.1%	合計	100.0%

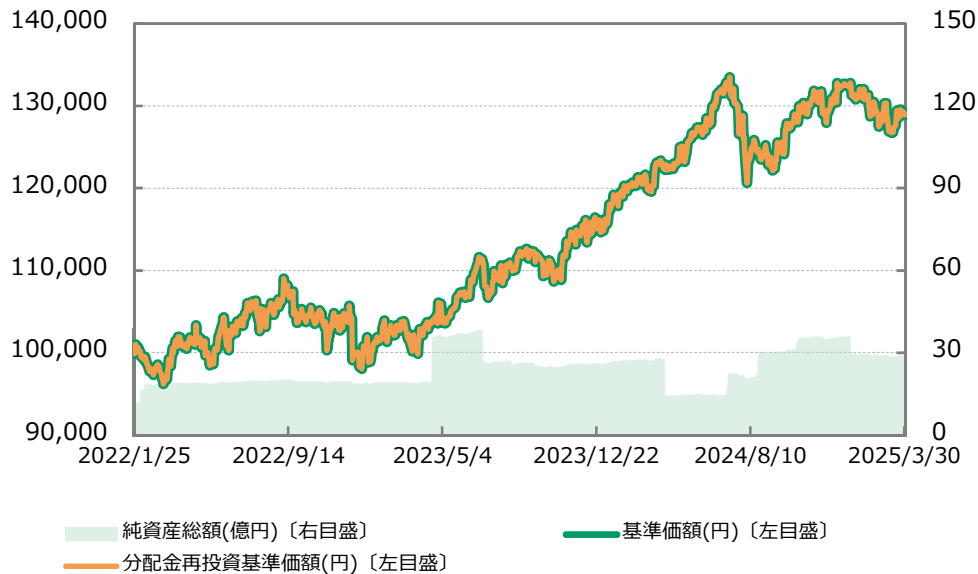
組入上位5銘柄						
	銘柄名	格付	種別	通貨	償還日	組入比率
1	英国国債	AA-	国債	英ポンド	2034/7/31	7.5%
2	英国国債	AA-	国債	英ポンド	2054/7/31	6.4%
3	米国国債	AA+	国債	米ドル	2035/2/15	6.2%
4	米国国債	AA+	国債	米ドル	2026/4/30	6.1%
5	米国国債	AA+	国債	米ドル	2026/10/31	6.1%

●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	主として米国企業の発行する社債	ベンチマーク	Bloomberg US Corporate Index
設定日	2022年1月25日	管理報酬等	年率0.55%（上限）
運用会社	アムンディ・アセットマネジメント・US・インク		

運用の概要	マクロ分析やクレジットサイクル分析を通じたトップダウンアプローチと、ファンダメンタル分析を通じたボトムアップアプローチの融合によりセクター配分や銘柄選択を行う運用です。
選定のポイント	セクター配分と銘柄選択に着目した標準化されたプロセスが経験豊富な運用者によって実現されており、長期的に一貫したリターンが期待できます。

基準価額・純資産総額の推移



特性値	
平均残存年数	10.13
最終利回り	5.49%
直接利回り	5.08%
修正デュレーション	6.85
銘柄数	210

債券種別資産配分	
債券種別	組入比率
国債	3.2%
社債	94.5%
国際機関債/政府保証債/政府機関債	0.0%
モーゲージ債	0.0%
地方債	0.0%
その他	0.0%
合計	97.7%

格付別資産配分	
格付	組入比率
AAA	0.7%
AA	5.6%
A	32.5%
BBB	56.5%
BB以下	1.8%
無格付	0.6%
合計	97.7%

通貨別資産配分	
通貨	組入比率
米ドル	100.0%
-	-
-	-
-	-
-	-
その他	0.0%
合計	100.0%

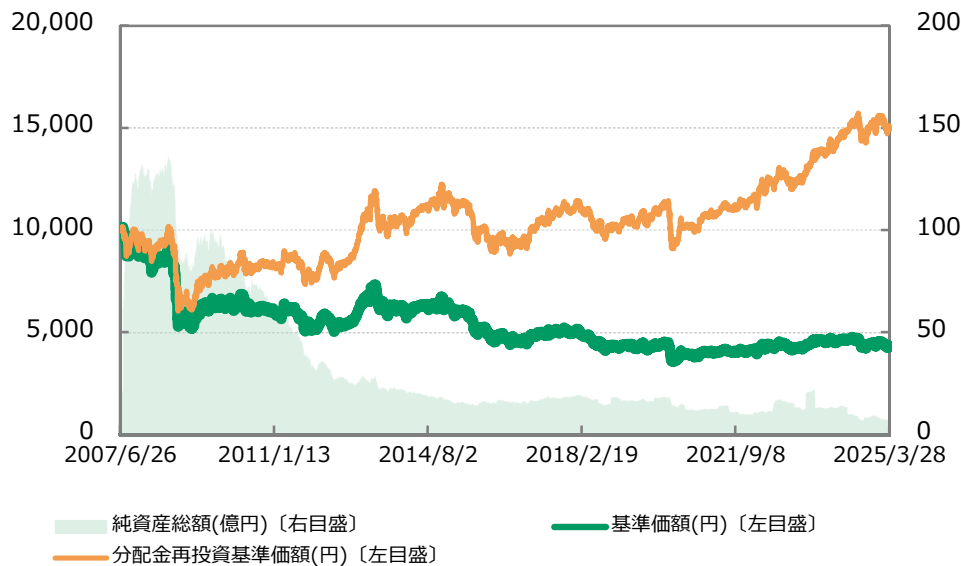
※ 上記のファンドの比率は為替予約、経過利息を含みます。

組入上位5銘柄						
	銘柄名	格付	種別	通貨	償還日	組入比率
1	JEF 5% 02/26 MTN	BBB	社債	米ドル	2026/02/10	1.4%
2	CNO 2.65% 01/29 144A	A	社債	米ドル	2029/01/06	1.3%
3	MASSMU 5.672% 12/52 144A	AA	社債	米ドル	2052/12/01	1.3%
4	FARMER FRN 11/57	BBB	社債	米ドル	2057/11/01	1.2%
5	MYLIFE VAR 06/55 144A	A	社債	米ドル	2055/06/11	1.2%

● 上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。● 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。● 上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。● 上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	現地通貨建ての新興国の公社債	ベンチマーク	—
設定日	2007年6月26日	運用管理費用 (信託報酬)	年率0.814% (税抜0.74%)
運用会社	J Pモルガン・アセット・マネジメント株式会社		
運用の概要	経済や市場動向などのマクロ的な予測や分析と個別銘柄分析の組み合わせによって主に新興国の政府または政府機関の発行する現地通貨建て債券に投資することで、収益の獲得を目指します。		
選定のポイント	運用チームは充実しており、体制面で安心感があります。調査力を生かした収益の獲得が期待されます。		

基準価額・純資産総額の推移



特性値		債券種別資産配分	
平均残存年数	8.46	債券種別	組入比率
最終利回り	6.28%	国債	96.0%
直接利回り	6.04%	社債	0.0%
修正デュレーション	6.12	国際機関債/政府保証債/政府機関債	0.0%
銘柄数	90	モーゲージ債	0.0%
		地方債	0.0%
		その他	4.0%
		合計	100.0%

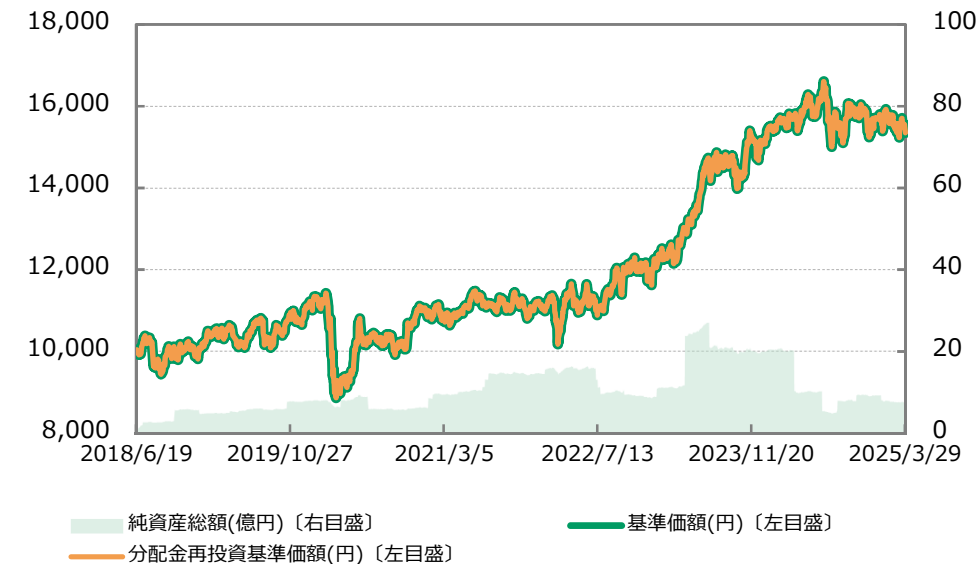
格付別資産配分		通貨別資産配分	
格付	組入比率	通貨	組入比率
AAA	0.0%	オフショア人民元	42.2%
AA	1.5%	メキシコペソ	7.5%
A	3.9%	チェココルナ	5.5%
BBB	15.5%	インドネシアルピア	5.3%
BB以下	5.8%	タイバーツ	5.0%
無格付	73.4%	その他	34.5%
合計	100.0%	合計	100.0%

組入上位5銘柄						
	銘柄名	格付	種別	通貨	償還日	組入比率
1	CHINA GOVT 2.68% MAY30 INBK	格付なし	国債	オフショア人民元	2030/5/21	6.4%
2	CHINA GOVT 2.85% JUN27 INBK	格付なし	国債	オフショア人民元	2027/6/4	5.7%
3	CHINA GOVT 2.27% MAY34 INBK	格付なし	国債	オフショア人民元	2034/5/25	4.3%
4	CHINA GOVT 3.27% NOV30 INBK	格付なし	国債	オフショア人民元	2030/11/19	4.2%
5	CHINA GOVT 2.76% MAY32 INBK	格付なし	国債	オフショア人民元	2032/5/15	4.2%

●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	現地通貨建ての新興国の公社債	ベンチマーク	JPモルガンGBI-EM Global Diversified指数（除くBB－格未満・ヘッジなし・円ベース）
設定日	2018年6月19日	運用管理費用（信託報酬）	年率0.781%（税抜0.71%）
運用会社	S O M P Oアセットマネジメント株式会社		
運用の概要	名目金利と予想インフレ率から導き出した実質金利と、購買力平価からの乖離に基づいた実質為替に着目することで、超過収益の獲得を目指す運用です。		
選定のポイント	経験豊かな運用メンバーと明確で一貫した運用方針により、中長期的に超過収益の獲得が期待できます。		

基準価額・純資産総額の推移



特性値	
平均残存年数	9.72
最終利回り	9.51%
直接利回り	8.41%
修正デュレーション	5.54
銘柄数	76

債券種別資産配分	
債券種別	組入比率
国債	93.6%
社債	0.0%
国際機関債/政府保証債/政府機関債	0.0%
モーゲージ債	0.0%
地方債	0.0%
その他	0.0%
合計	93.6%

格付別資産配分	
格付	組入比率
AAA	0.0%
AA	15.1%
A	40.4%
BBB	23.3%
BB以下	14.8%
無格付	0.0%
合計	93.6%

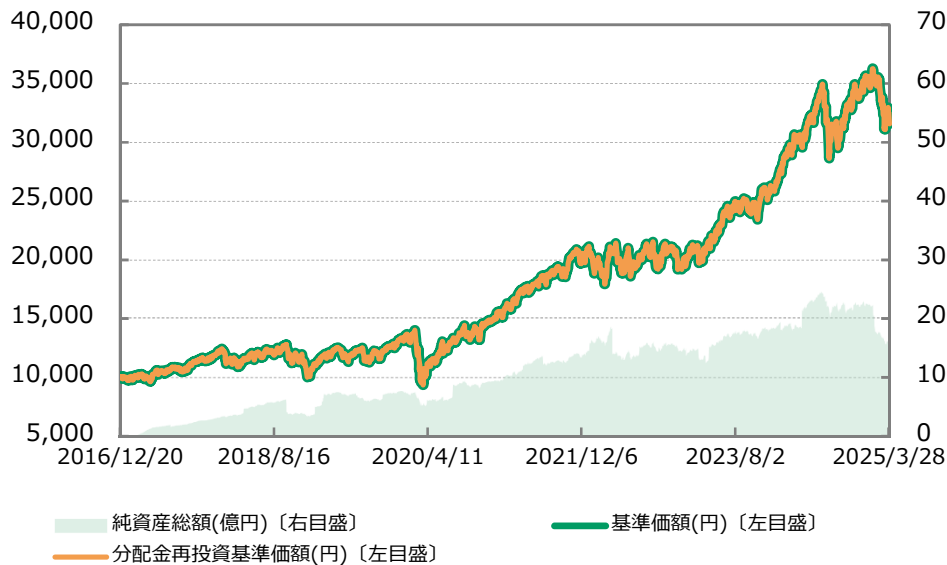
通貨別資産配分	
通貨	組入比率
メキシコペソ	18.5%
インドネシアルピア	17.6%
マレーシアリングgit	15.1%
ブラジルレアル	12.7%
南アフリカランド	12.5%
その他	23.7%
合計	100.0%

組入上位5銘柄						
	銘柄名	格付	種別	通貨	償還日	組入比率
1	BNTNF 10 01/01/29	BBB	国債	ブラジルレアル	2029/01/01	3.9%
2	MGs 2.632 04/15/31	AA-	国債	マレーシアリングgit	2031/04/15	3.7%
3	SAGB 8 3/4 02/28/48	BB	国債	南アフリカランド	2048/02/28	3.6%
4	MGs 3.899 11/16/27	AA-	国債	マレーシアリングgit	2027/11/16	3.4%
5	SAGB 8 3/4 01/31/44	BB	国債	南アフリカランド	2044/01/31	3.2%

●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	世界主要国（日本を除く）の株式	ベンチマーク	M S C I コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
設定日	2016年12月20日	運用管理費用（信託報酬）	年率0.88%（税抜0.80%）
運用会社	シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社		
運用の概要	企業の質や成長性を示す指標に着目し、銘柄選択において、充実したリサーチ体制を活用した自社の予測と市場の認識との差に注目し超過収益の源泉とします。		
選定のポイント	グローバルに展開する充実した調査体制を活用した銘柄選択によって安定した超過収益が期待できます。		

基準価額・純資産総額の推移



属性	
予想PER（倍）	20.8
PBR（倍）	4.3
配当利回り	1.5%
銘柄数	118

※ 予想PERの定義：足元の株価÷来期予想EPS（IBESによる）。但し予想EPSがマイナスの銘柄を除きます。

※ PBRの定義：足元の株価÷来期予想BPS（IBESによる）。

※ 配当利回りの定義：来期予想一株当たりの年間配当金（IBESによる）÷足元の株価。

規模別資産配分	
規模	組入比率
大型	98.8%
中型	0.3%
小型	0.0%
その他	0.9%
合計	100.0%

※ 大型：時価総額100億米ドル以上
中型：時価総額10億米ドル以上100億米ドル未満
小型：時価総額10億米ドル未満

業種別資産配分	
業種	組入比率
情報技術	24.7%
金融	14.6%
ヘルスケア	12.2%
資本財・サービス	11.2%
コミュニケーション・サービス	10.9%
その他	26.4%
合計	100.0%

※ 世界産業分類基準（G I C S）の分類を基準としています。

国・地域別資産配分	
国・地域	組入比率
アメリカ	71.9%
イギリス	6.0%
ドイツ	3.8%
フランス	3.6%
スイス	2.5%
その他	12.1%
合計	100.0%

組入上位5銘柄

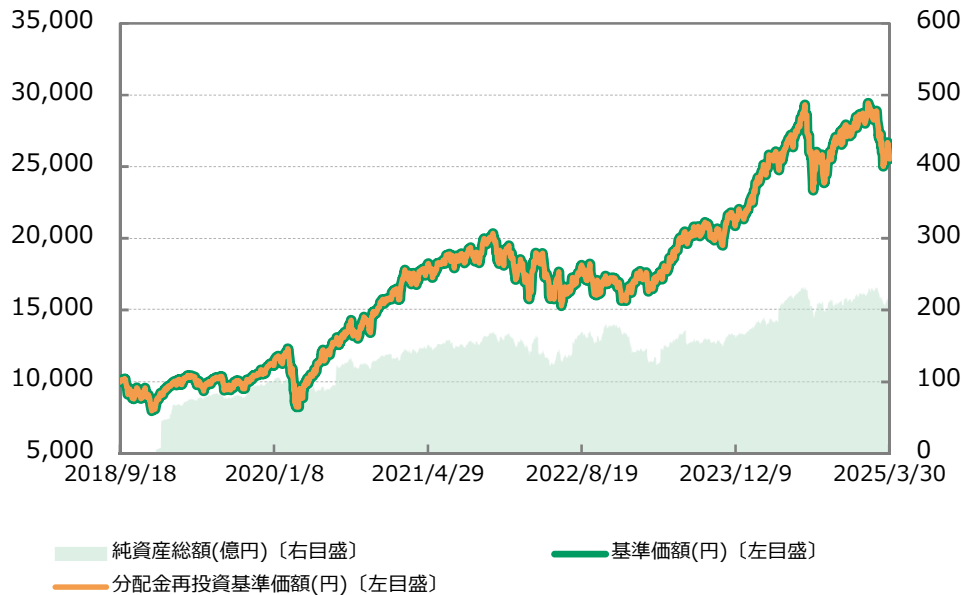
	銘柄名	業種	国・地域	組入比率
1	MICROSOFT CORP	情報技術	アメリカ	4.8%
2	APPLE INC	情報技術	アメリカ	4.5%
3	NVIDIA CORP	情報技術	アメリカ	4.2%
4	ALPHABET INC-A	コミュニケーション・サービス	アメリカ	3.5%
5	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス	アメリカ	3.5%

※ 業種は世界産業分類基準（G I C S）の分類を基準としています。

● 上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。● 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。● 上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。● 上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	世界主要国（日本を除く）の株式	ベンチマーク	M S C I コクサイ・インデックス（配当込み、円換算）
設定日	2018年9月18日	運用管理費用（信託報酬）	年率0.9625%（税抜0.875%）
運用会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社		
運用の概要	グローバルな銘柄調査をもとにした、資本収益率の改善が見込まれる質の高い企業に、適正な価格で投資を行うことで超過収益の獲得を目指す運用です。		
選定のポイント	充実したリサーチ体制による銘柄の選択と、機動的な運用によって超過収益の獲得が期待できます。		

基準価額・純資産総額の推移



●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

属性		規模別資産配分	
予想PER（倍）	22.6	規模	組入比率
PBR（倍）	6.8	大型	93.5%
配当利回り	1.3%	中型	4.0%
銘柄数	76	小型	0.0%
		その他	0.0%
		合計	97.6%

※ 大型：時価総額100億米ドル以上
中型：時価総額10億米ドル以上100億米ドル未満
小型：時価総額10億米ドル未満

業種別資産配分		国・地域別資産配分	
業種	組入比率	国・地域	組入比率
情報技術	24.2%	アメリカ	63.3%
金融	22.8%	イギリス	6.6%
一般消費財・サービス	11.6%	ドイツ	5.3%
ヘルスケア	9.5%	オランダ	4.5%
コミュニケーション・サービス	7.4%	ケイマン諸島	4.2%
その他	22.1%	その他	13.6%
合計	97.6%	合計	97.6%

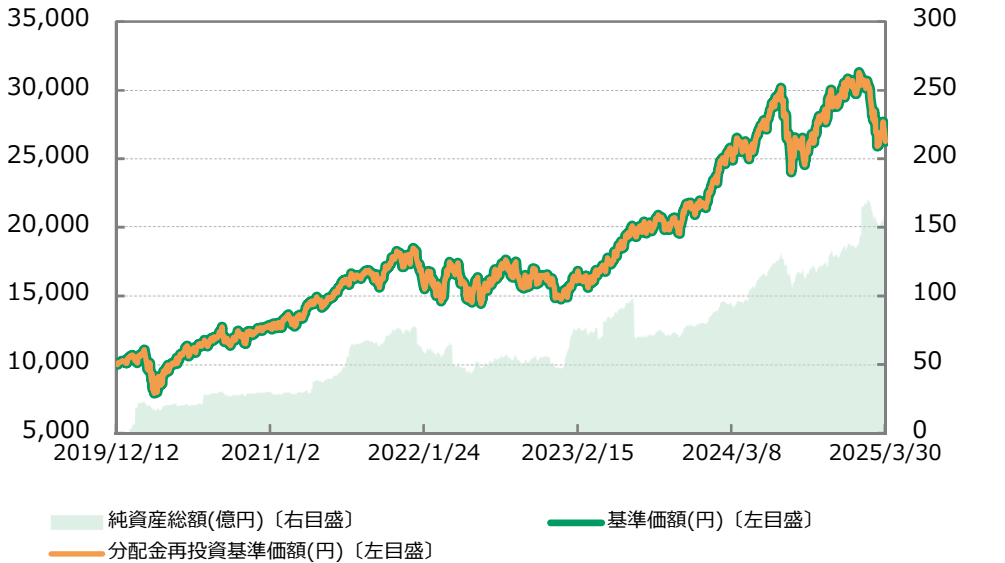
※ 世界産業分類基準（G I C S）の分類を基準としています。

組入上位5銘柄				
	銘柄名	業種	国・地域	組入比率
1	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス	アメリカ	4.1%
2	MICROSOFT CORP	情報技術	アメリカ	3.8%
3	META PLATFORMS INC-CLASS A	コミュニケーション・サービス	アメリカ	3.5%
4	ELI LILLY & CO	ヘルスケア	アメリカ	3.5%
5	UNILEVER PLC	生活必需品	イギリス	3.4%

※ 業種は世界産業分類基準（G I C S）の分類を基準としています。

実質的な投資対象	米国の株式	ベンチマーク	S&P500 株価指数 (配当金込み、円ベース)
設定日	2019年12月13日	運用管理費用 (信託報酬)	年率0.902% (税抜0.82%)
運用会社	アライアンス・バーンスタイン株式会社		
運用の概要	企業収益の持続性に着目し、投下資本収益率の高い米国成長企業を選定します。ファンダメンタルズ分析と株価バリュエーションに基づき厳選投資することで超過収益の獲得を目指す運用です。		
選定のポイント	確固とした投資哲学と投資局面変化を捉えた柔軟なポジション調整により、安定的な超過収益の獲得が期待できます。		

基準価額・純資産総額の推移



● 上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。● 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。● 上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。● 上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

属性		規模別資産配分	
予想PER（倍）	-	規模	組入比率
PBR（倍）	-	大型	62.0%
配当利回り	-	中型	14.8%
銘柄数	54	小型	18.0%
※ 予想PER、PBR、配当利回りについては開示していません。		その他	0.0%
		合計	94.7%

※ 大型：時価総額1000億米ドル以上
中型：時価総額500億米ドル以上1000億米ドル未満
小型：時価総額500億米ドル未満

業種別資産配分		国・地域別資産配分	
業種	組入比率	国・地域	組入比率
情報技術	27.3%	アメリカ	90.7%
一般消費財・サービス	15.7%	台湾	1.0%
コミュニケーション・サービス	13.9%	イタリア	0.9%
ヘルスケア	13.7%	スイス	0.7%
金融	8.0%	カナダ	0.6%
その他	16.1%	その他	0.8%
合計	94.7%	合計	94.7%

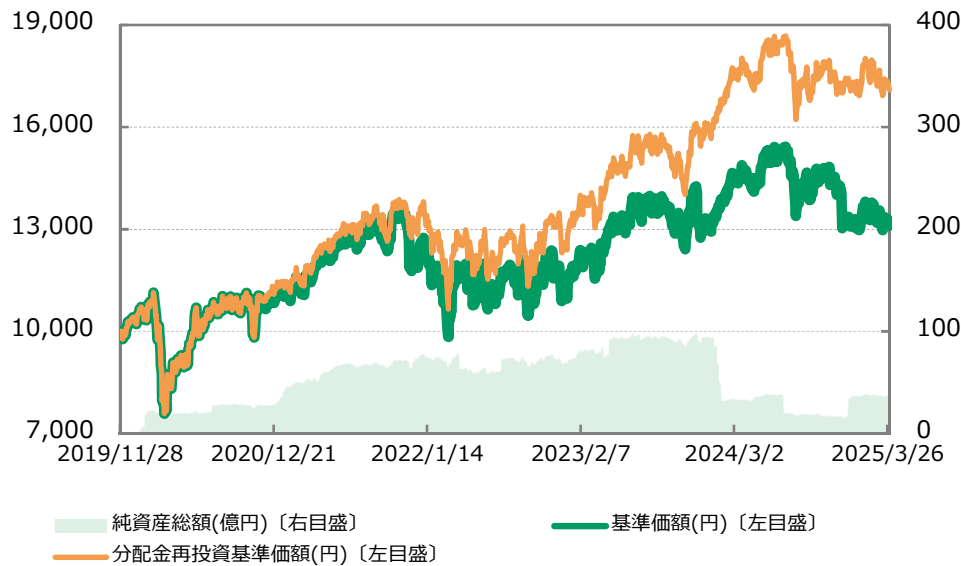
※ 世界産業分類基準（GICS）の分類を基準としています。

組入上位5銘柄				
	銘柄名	業種	国・地域	組入比率
1	アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	アメリカ	6.9%
2	エヌビディア	情報技術	アメリカ	5.6%
3	メタ・プラットフォームズ	コミュニケーション・サービス	アメリカ	5.3%
4	VISA	金融	アメリカ	5.3%
5	マイクロソフト	情報技術	アメリカ	4.9%

※ 業種は世界産業分類基準（GICS）の分類を基準としています。

実質的な投資対象	欧州の株式	ベンチマーク	—
設定日	2019年11月29日	運用管理費用 (信託報酬)	年率0.814% (税抜0.74%)
運用会社	フィデリティ投信株式会社		
運用の概要	英国および欧州大陸の企業の中から、景気動向に業績が左右されにくく質の高いビジネスを行っている企業を選定投資することで超過収益の獲得を目指す運用です。		
選定のポイント	経験豊かな運用メンバーと明確で一貫した運用方針により、中長期的に超過収益の獲得が期待できます。		

基準価額・純資産総額の推移



属性		規模別資産配分	
予想PER (倍)	19.7	規模	組入比率
PBR (倍)	4.1	大型	86.3%
配当利回り	1.9%	中型	10.8%
銘柄数	53	小型	2.9%
※ 予想PERの定義：システム (Factset)の保有する株価等データを元に算出した予想PER。マイナス値を含む。		その他	0.0%
※ PBRの定義：システム (Factset)の保有する株価等データを元に算出したPBR。マイナス値を含む。		合計	100.0%
※ 配当利回りの定義：システム (Factset)の保有する株価等データを元に算出した実質配当利回り。		※ 大型：時価総額1兆円以上 中型：時価総額5000億円以上1兆円未満 小型：時価総額1000億円以上5000億円未満	

業種別資産配分		国・地域別資産配分	
業種	組入比率	国・地域	組入比率
資本財・サービス	25.2%	イギリス	29.6%
ヘルスケア	16.7%	フランス	15.6%
情報技術	14.3%	ドイツ	12.7%
一般消費財・サービス	12.8%	スイス	6.5%
金融	11.1%	オランダ	6.3%
その他	19.9%	その他	29.3%
合計	100.0%	合計	100.0%

※ 世界産業分類基準 (G I C S) の分類を基準としています。

組入上位5銘柄				
	銘柄名	業種	国・地域	組入比率
1	EXPERIAN PLC	資本財・サービス	ジャージー	5.5%
2	RELX PLC	資本財・サービス	イギリス	5.4%
3	SAP SE	情報技術	ドイツ	4.8%
4	AIR LIQUIDE SA	素材	フランス	4.2%
5	CONVATEC GROUP PLC	ヘルスケア	イギリス	4.1%

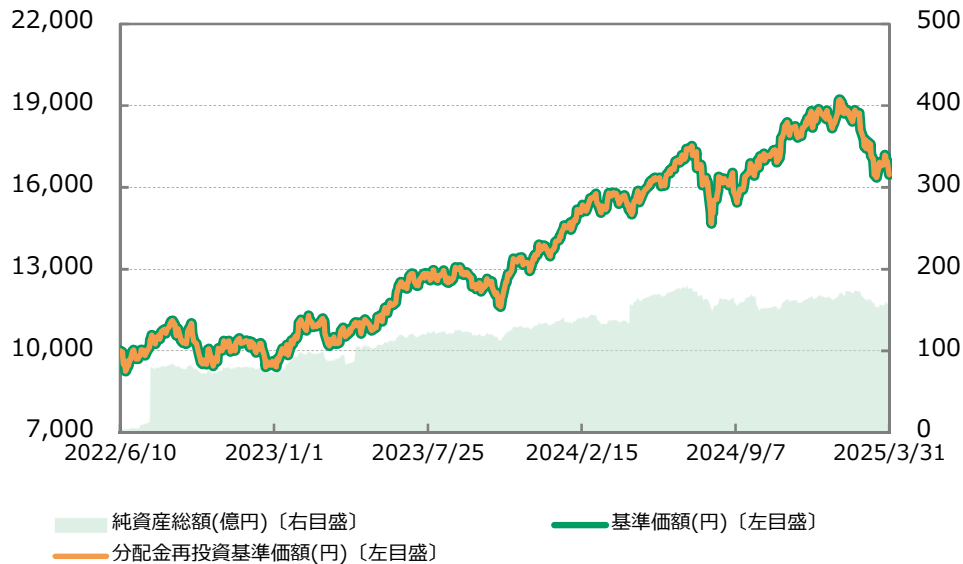
※ 業種は世界産業分類基準 (G I C S) の分類を基準としています。

● 上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。● 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。● 上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。● 上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	世界主要国（日本を除く）の株式	ベンチマーク	—
設定日	2022年6月10日	運用管理費用（信託報酬）	年率0.594%（税抜0.54%）
運用会社	りそなアセットマネジメント株式会社		

運用の概要	一貫した運用コンセプトのもと、企業取材を中心とした独自の銘柄調査/評価手法を用いたボトムアップアプローチにより、長期にわたり持続的な競争優位性を持つ企業を発掘し、集中投資を行います。
選定のポイント	独自の分析手法を駆使したボトムアップアプローチに基づく銘柄選択を通じて、長期的に市場指数を上回るリターンを獲得が期待できます。

基準価額・純資産総額の推移



属性	
予想PER（倍）	24.3
PBR（倍）	5.5
配当利回り	0.9%
銘柄数	29

※ 予想PERの定義：足元の株価÷来期予想EPS(Factsetによる)。但し予想EPSがマイナスの銘柄を除く。
※ PBRの定義：足元の株価÷来期予想BPS(Factsetによる)。
※ 配当利回りの定義：来期予想一株当たりの年間配当金(IBESによる)÷足元の株価。

規模別資産配分	
規模	組入比率
大型	88.3%
中型	10.1%
小型	0.0%
その他	0.0%
合計	98.4%

※ 大型：時価総額100億米ドル以上
中型：時価総額20億米ドル以上100億米ドル未満
小型：時価総額20億米ドル未満

業種別資産配分	
業種	組入比率
情報技術	29.8%
資本財・サービス	13.6%
ヘルスケア	13.6%
生活必需品	10.7%
金融	10.5%
その他	20.2%
合計	98.4%

※ 世界産業分類基準（G I C S）の分類を基準としています。

国・地域別資産配分	
国・地域	組入比率
アメリカ	67.5%
フランス	10.4%
ドイツ	6.9%
スイス	3.6%
デンマーク	3.5%
その他	6.5%
合計	98.4%

組入上位5銘柄

	銘柄名	業種	国・地域	組入比率
1	リンツ&シュブルングリー	生活必需品	スイス	3.6%
2	ハノーバー再保険	金融	ドイツ	3.6%
3	テレパフォーランス	資本財・サービス	フランス	3.6%
4	ビザ	金融	アメリカ	3.5%
5	ゾエティス	ヘルスケア	アメリカ	3.5%

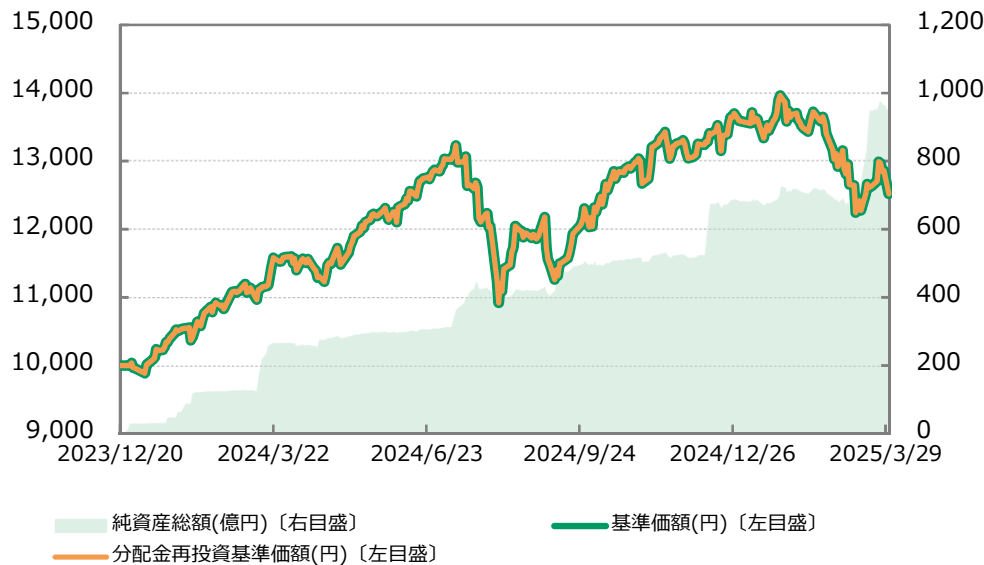
※ 業種は世界産業分類基準（G I C S）の分類を基準としています。

●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	世界主要国（日本を除く）の株式	ベンチマーク	－
設定日	2023年12月20日	運用管理費用（信託報酬）	年率上限0.8481% （税抜上限0.771%）
運用会社	大和アセットマネジメント株式会社		

運用の概要	日本を除く世界主要国の株式について、独自に開発した定量モデルを用いて銘柄選択や投資配分の決定を行い、ポートフォリオの構築を行うクオンツ運用です。実際の運用はニューメリック・インベスターズ・エルエルシーが行います。
選定のポイント	独自に開発したモデルを最大限活用し、経験豊富な運用者により一貫した運用プロセスが構築されており、中長期的に安定した超過収益の獲得が期待できます。

基準価額・純資産総額の推移



属性	
予想PER（倍）	16.6
PBR（倍）	3.5
配当利回り	1.6%
銘柄数	246

※ 予想PER、PBRの定義：IBES、バーラ、ブルームバーグなどの外部ベンダーによるデータを総合的に活用し、最も妥当性が高いと思われる値（1期先の予測値）

※ 配当利回りの定義：IBES、バーラ、ブルームバーグなどの外部ベンダーによるデータを総合的に活用し、最も妥当性が高いと思われる値（実績値）

規模別資産配分	
規模	組入比率
大型	88.1%
中型	9.8%
小型	0.0%
その他	0.0%
合計	97.9%

※ 大型：時価総額100億米ドル以上
中型：時価総額10億米ドル以上100億米ドル未満
小型：時価総額10億米ドル未満

業種別資産配分	
業種	組入比率
情報技術	23.8%
金融	16.8%
ヘルスケア	12.4%
資本財・サービス	10.2%
一般消費財・サービス	9.5%
その他	25.2%
合計	97.9%

※ 世界産業分類基準（G I C S）の分類を基準としています。

国・地域別資産配分	
国・地域	組入比率
アメリカ	72.4%
オランダ	4.1%
カナダ	3.5%
フランス	3.2%
イギリス	3.2%
その他	13.6%
合計	100.0%

組入上位5銘柄

	銘柄名	業種	国・地域	組入比率
1	APPLE INC	情報技術	アメリカ	4.8%
2	NVIDIA CORP	情報技術	アメリカ	4.2%
3	MICROSOFT CORP	情報技術	アメリカ	3.5%
4	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス	アメリカ	2.7%
5	META PLATFORMS INC CLASS A	コミュニケーション・サービス	アメリカ	2.2%

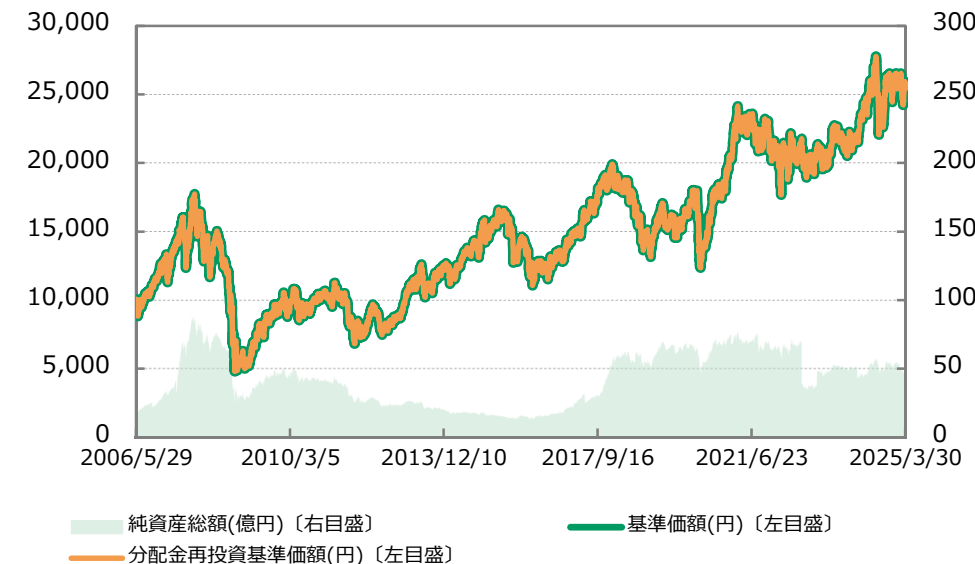
※ 業種は世界産業分類基準（G I C S）の分類を基準としています。

● 上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。● 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。● 上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。● 上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	新興国の株式	ベンチマーク	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(円ベース)
設定日	2006年5月29日	運用管理費用(信託報酬)	年率0.99%(税抜0.90%)
運用会社	アライアンス・バーンスタイン株式会社		

運用の概要	新興国の企業の質や成長性、競争力に着目して長期的視点から成長銘柄を選択することで、収益の獲得を目指す運用です。ポートフォリオ全体のリスクを考慮して運用します。
選定のポイント	成長期待のある銘柄を保有しダウンスайдを抑制する投資方針で中長期に安定した収益の獲得が期待できます。

基準価額・純資産総額の推移



●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

属性		規模別資産配分	
予想PER (倍)	-	規模	組入比率
PBR (倍)	-	大型	77.2%
配当利回り	-	中型	17.5%
銘柄数	56	小型	1.2%
※ 予想PER、PBR、配当利回りについては開示していません。		その他	0.0%
		合計	95.8%

※ 大型：時価総額100億米ドル以上
 中型：時価総額30億米ドル以上100億米ドル未満
 小型：時価総額30億米ドル未満

業種別資産配分		国・地域別資産配分	
業種	組入比率	国・地域	組入比率
金融	23.8%	中国	31.1%
情報技術	21.1%	インド	16.0%
一般消費財・サービス	20.9%	台湾	12.6%
コミュニケーション・サービス	9.3%	韓国	8.9%
資本財・サービス	6.3%	ブラジル	6.6%
その他	14.5%	その他	20.5%
合計	95.8%	合計	95.8%

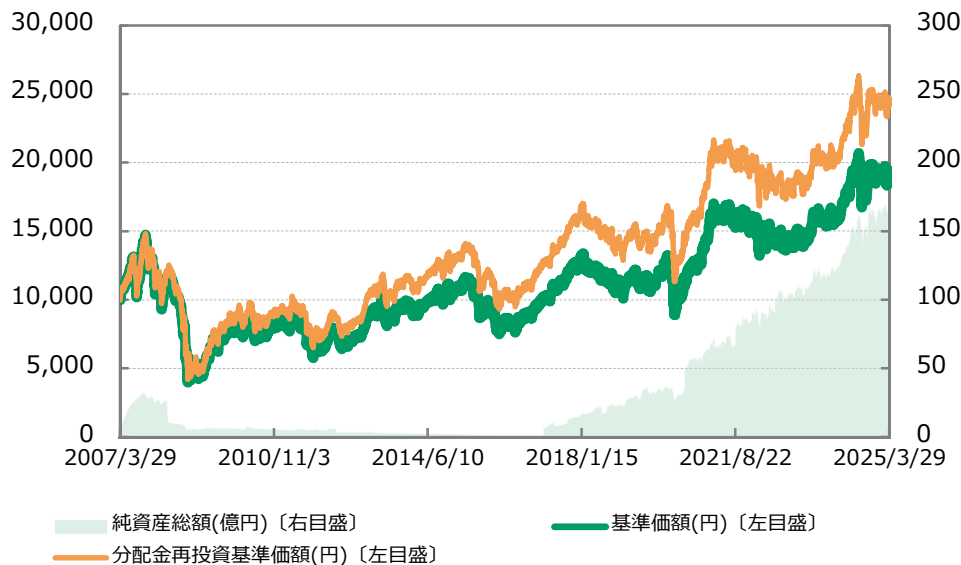
※ 世界産業分類基準（GICS）の分類を基準としています。

組入上位5銘柄				
	銘柄名	業種	国・地域	組入比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	情報技術	台湾	7.7%
2	TENCENT HOLDINGS LTD	コミュニケーション・サービス	中国	5.9%
3	SK HYNIX INC	情報技術	韓国	3.4%
4	MEDIATEK INC	情報技術	台湾	3.1%
5	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	一般消費財・サービス	中国	2.8%

※ 業種は世界産業分類基準（GICS）の分類を基準としています。

実質的な投資対象	新興国の株式	ベンチマーク	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)
設定日	2007年3月29日	運用管理費用 (信託報酬)	年率0.9119% (税抜0.829%)
運用会社	シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社		
運用の概要	定量モデルを中心としたトップダウン判断によって国別配分を決定する一方、国別には充実したリサーチ体制による銘柄選択を行うことで超過収益の獲得を目指します。		
選定のポイント	優位性のある調査体制をしっかりと組み込んだ運用プロセスが構築されていて、超過収益が期待できます。		

基準価額・純資産総額の推移



属性		規模別資産配分	
予想PER (倍)	12.7	規模	組入比率
PBR (倍)	2.4	大型	84.8%
配当利回り	2.3%	中型	11.6%
銘柄数	113	小型	1.7%
※ 予想PERの定義：足元の株価÷当期予想EPS (IBESによる)。但し当期予想EPSがマイナスの銘柄を除きます。		その他	1.9%
		合計	100.0%

※ 大型：時価総額100億米ドル以上
 中型：時価総額10億米ドル以上100億米ドル未満
 小型：時価総額10億米ドル未満

業種別資産配分		国・地域別資産配分	
業種	組入比率	国・地域	組入比率
情報技術	23.6%	中国	29.5%
金融	22.3%	台湾	17.8%
一般消費財・サービス	14.2%	インド	15.0%
コミュニケーション・サービス	11.4%	韓国	8.1%
生活必需品	7.0%	ブラジル	7.0%
その他	21.5%	その他	22.6%
合計	100.0%	合計	100.0%

※ 世界産業分類基準 (GICS) の分類を基準としています。

組入上位5銘柄				
	銘柄名	業種	国・地域	組入比率
1	TAIWAN SEMICON	情報技術	台湾	8.7%
2	TENCENT HOLDINGS	電気通信サービス	中国	6.8%
3	SAMSUNG ELECTRONICS	情報技術	韓国	3.2%
4	HDFC BANK LTD	金融	インド	2.3%
5	MEITUAN-B	一般消費財・サービス	中国	2.1%

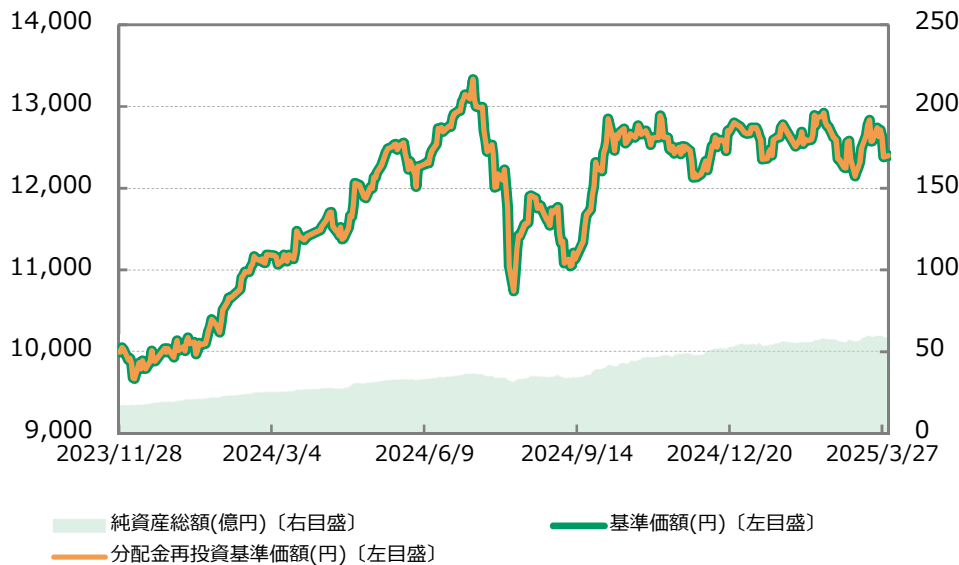
※ 業種は世界産業分類基準 (GICS) の分類を基準としています。

●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

実質的な投資対象	新興国の株式	ベンチマーク	MSCI エマージング・マーケット・インデックス
設定日	2023年11月28日	管理報酬等	年率0.76%
運用会社	ロベコ・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・ビーヴィ		

運用の概要	新興国の株式について、独自に開発した定量モデルを活用し、ボトムアップの銘柄選択によりポートフォリオの構築を行うクオンツ運用です。
選定のポイント	徹底したリスク管理と一貫した運用プロセスが構築されており、独自モデルを活用した銘柄選択を通じて、中長期的に安定した超過収益の獲得が期待できます。

基準価額・純資産総額の推移



属性	
予想PER (倍)	9.7
PBR (倍)	1.4
配当利回り	3.1%
銘柄数	410

規模別資産配分	
規模	組入比率
大型	65.9%
中型	28.9%
小型	2.6%
その他	2.6%
合計	100.0%

※ 大型：時価総額100億米ドル以上
中型：時価総額10億米ドル以上100億米ドル未満
小型：時価総額10億米ドル未満

業種別資産配分	
業種	組入比率
情報技術	23.4%
金融	22.4%
一般消費財・サービス	15.7%
コミュニケーション・サービス	10.6%
資本財・サービス	8.4%
その他	19.5%
合計	100.0%

※ 世界産業分類基準（G I C S）の分類を基準としています。

国・地域別資産配分	
国・地域	組入比率
中国	31.2%
台湾	18.0%
インド	15.8%
韓国	10.7%
ブラジル	5.6%
その他	18.6%
合計	100.0%

組入上位5銘柄

	銘柄名	業種	国・地域	組入比率
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	情報技術	台湾	8.0%
2	Tencent Holdings Ltd	コミュニケーション・サービス	中国	4.4%
3	Alibaba Group Holding Ltd	一般消費財・サービス	中国	3.8%
4	Samsung Electronics Co Ltd	情報技術	韓国	1.6%
5	Xiaomi Corp	情報技術	中国	1.6%

※ 業種は世界産業分類基準（G I C S）の分類を基準としています。

● 上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。● 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。● 上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。● 上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

ニッセイ・リスク抑制型バランスファンド(適格機関投資家専用)

(作成基準日：2025年3月31日)

実質的な投資対象	国内外の公社債 および株式等	ベンチ マーク	—
設定日	2016年12月22日	運用管理費用 (信託報酬)	年率0.484% (税抜0.44%)
運用会社	ニッセイアセットマネジメント株式会社		

運用の概要	内外の債券を中心に投資を行い、利息収入等の安定した収益を追求します。債券と株式・通貨の値動きの違いを活用し、内外株式の組入れ等によりファンド全体のリスク抑制をめざします。
選定のポイント	円金利資産投資を中心に株式や通貨等複数資産への投資も行い、安定的な収益獲得が見込まれます。

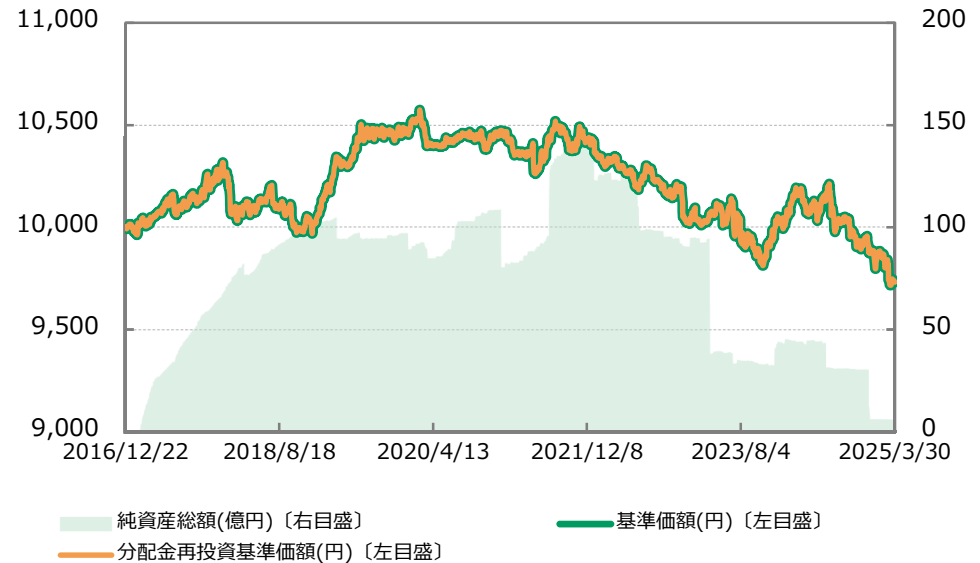
基準日2025年3月31日

基準価額	9,731円
純資産総額	6億円

ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	32.1%
株式先物	-24.5%
債券	31.9%
債券先物	19.4%
現金等	41.1%
合計	100.0%

基準価額・純資産総額の推移



●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●基準価額は1万口当たりで表示しています。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

FOFs用GBCAファンドR(適格機関投資家専用)

(作成基準日：2025年3月31日)

実質的な投資対象	国内の短期公社債、国内外の債券先物取引および主要通貨の為替予約取引	ベンチマーク	-
設定日	2019年12月16日	運用管理費用(信託報酬)	年率0.495%(税抜0.45%)
運用会社	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社		

運用の概要	先進国の国債先物と通貨を投資対象として運用します。各国間の金利格差と金利・通貨の方向性に着目し、市場変動の影響を抑制しながら安定したリターンの獲得を目指します。
選定のポイント	運用方針・運用プロセスについては、あらかじめ定められたルールに沿った運用が行われており、安定的な収益の獲得が期待できます。

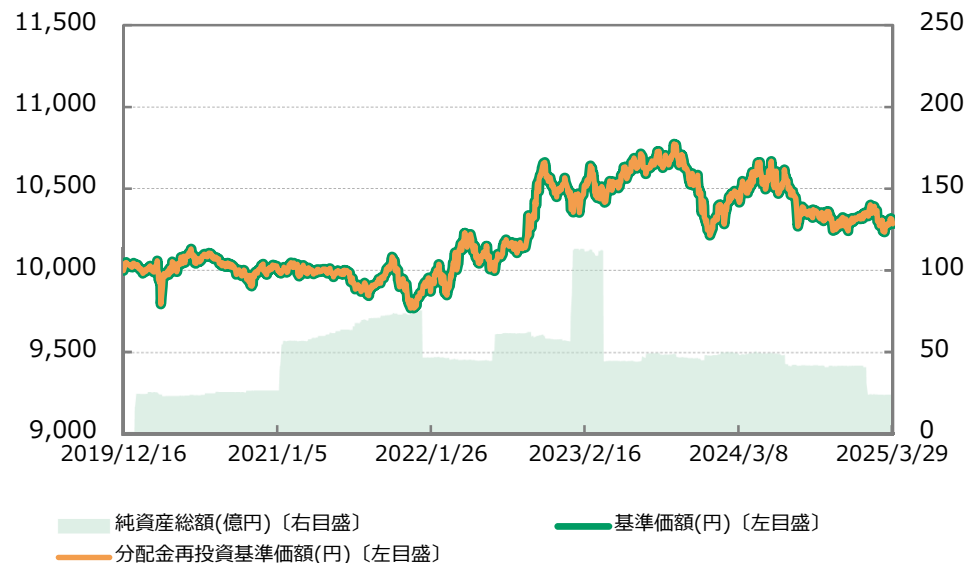
基準日2025年3月31日

ポートフォリオの状況

基準価額	10,285円
純資産総額	24億円

資産	組入比率
株式	0.0%
株式先物	0.0%
債券	50.7%
債券先物	-27.8%
現金等	49.3%
為替予約	-11.4%
合計	60.9%

基準価額・純資産総額の推移



●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●基準価額は1万口当たりで表示しています。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

りそな国内株式マーケットニュートラル(FoFs用)(適格機関投資家専用)

(作成基準日：2025年3月31日)

実質的な投資対象	国内の株式および株価指数先物取引等	ベンチマーク	-
設定日	2022年12月9日	運用管理費用(信託報酬)	年率0.473%(税抜0.43%)
運用会社	りそなアセットマネジメント株式会社		

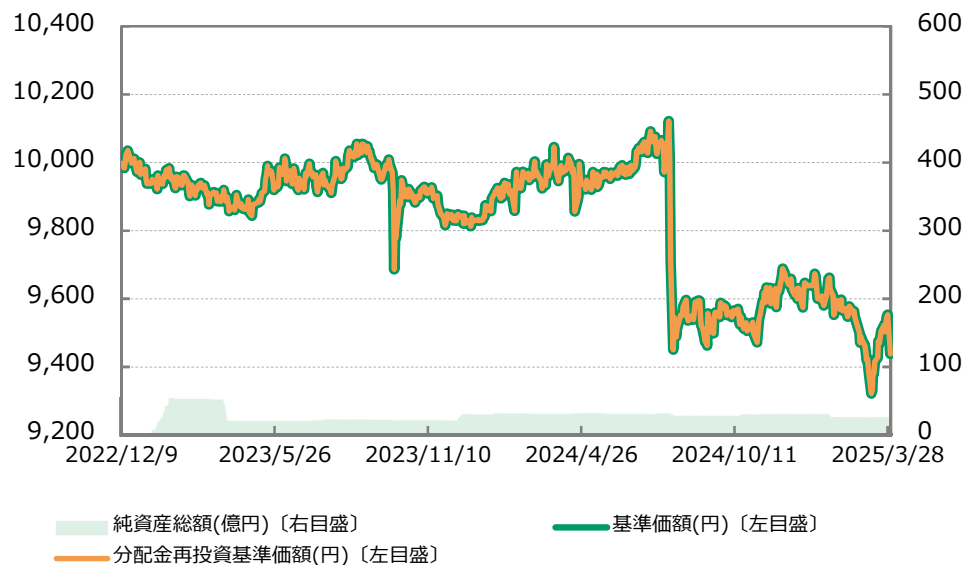
運用の概要	国内株のアクティブ運用ファンドを買い持ちする一方、買い持ち額と同額相当の株価指数先物を売り建てることで、アクティブ運用からの市場に対する超過リターンを絶対収益として獲得することを目指します。また、株価上昇局面にあると判断した場合、株価指数先物の売り建て比率を引き下げることで、株式相場の上昇をリターンとして取り込むことを目指します。
選定のポイント	ボトムアップリサーチによる綿密な調査・分析を通じたバランスの取れた市場型運用をベースとして、定量ツールを起点とした定性判断に基づく先物のヘッジ部分の調整により付加的なリターンを追求することで、どのような相場環境においても安定したリターンの積み上げが期待できます。

基準日2025年3月31日

ポートフォリオの状況

基準価額	9,438円	資産	組入比率
純資産総額	25億円	株式	87.4%
		株式先物	-67.6%
		債券	0.0%
		債券先物	0.0%
		現金等	12.4%
		合計	32.3%

基準価額・純資産総額の推移



●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●基準価額は1万口当たりで表示しています。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

スパークス・ファンド・匠(FOFs用)(適格機関投資家専用)

(作成基準日：2025年3月31日)

実質的な投資対象	国内の株式等	ベンチマーク	－
設定日	2024年2月28日	運用管理費用 (信託報酬)	年率1.10% (税抜1.00%)
運用会社	スパークス・アセット・マネジメント株式会社		

運用の概要	成長の見込まれる株式、過小評価されている株式を買い（ロング）、同時に過大評価されている魅力の乏しい株式を売る（ショート）ことにより、買いと売りの両方で収益の獲得を目指す株式ロングショート戦略です。
選定のポイント	経験豊富なメンバーによる優れた銘柄選択、および株式市場の長期成長性を取り込むためネットロング（買い比率＞売り比率）とする仕組みにより中長期での収益獲得が期待できます。

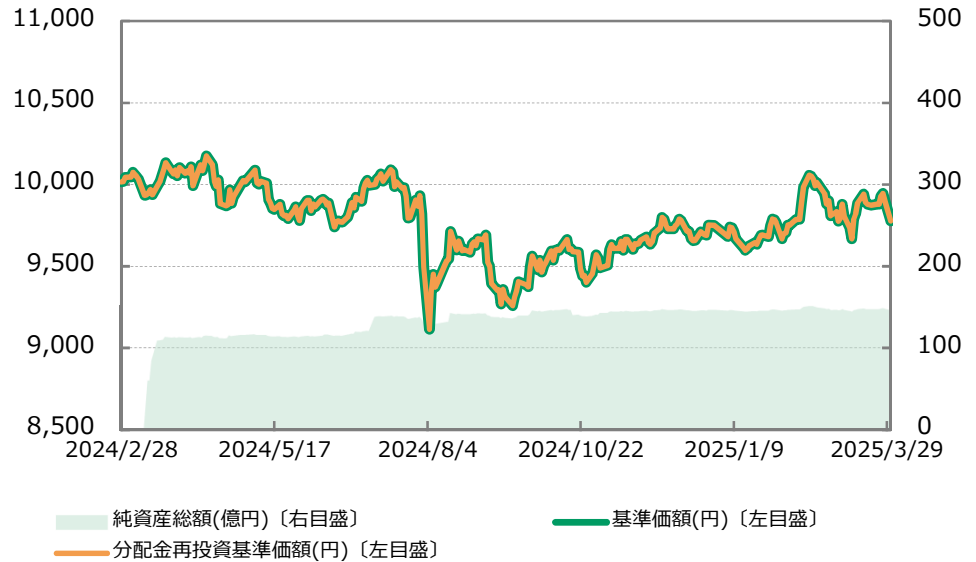
基準日2025年3月31日

基準価額	9,777円
純資産総額	145億円

ポートフォリオの状況

資産	組入比率
現物株式ロング	63.4%
その他ロング	0.0%
現物株式ショート	-23.3%
その他ショート	-11.2%
グロス（ロング+ショート）	98.0%
ネット（ロング+ショート）	28.9%

基準価額・純資産総額の推移



●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●基準価額は1万口当たりで表示しています。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

りそな0－5年円建公社債ラダー型ファンド(適格機関投資家専用)

(作成基準日：2025年3月31日)

実質的な投資対象	国内外の公社債等	ベンチマーク	－
設定日	2024年8月23日	運用管理費用(信託報酬)	年率上限0.264%(税抜上限0.24%)
運用会社	りそなアセットマネジメント株式会社		

運用の概要	主に円建公社債を投資対象として、国債対比で高い利回りを確保しつつ、残存年数が0年から5年のラダー型運用を行います。
選定のポイント	短期のラダー型運用により金利変動に基づく債券価格変動を抑制しつつ、国債対比で高い利回りの公社債に投資することで、長期的に安定的な収益の積み上げが期待できます。

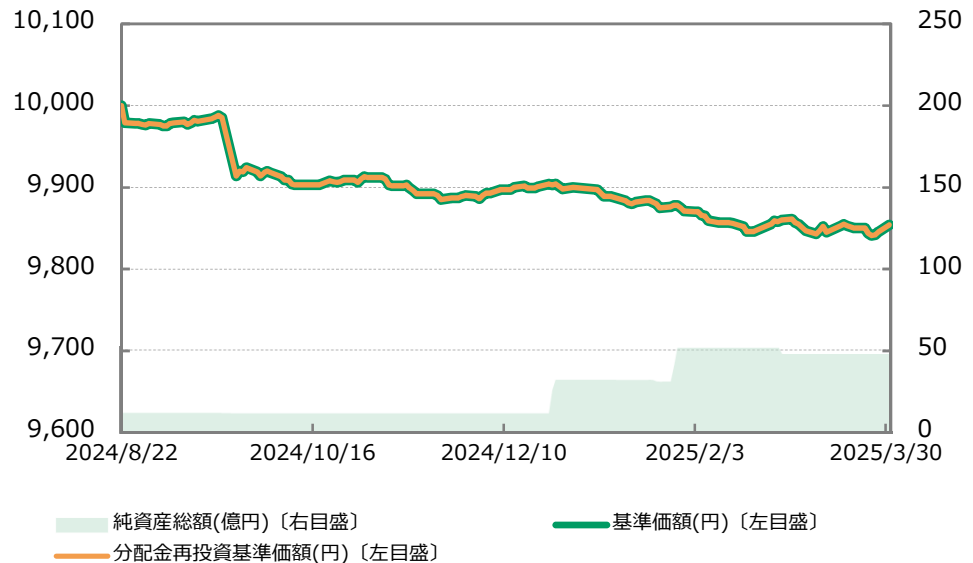
基準日2025年3月31日

基準価額	9,854円
純資産総額	47億円

ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	0.0%
株式先物	0.0%
債券	98.1%
債券先物	0.0%
現金等	1.9%
合計	100.0%

基準価額・純資産総額の推移



●上記は委託会社が運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。●分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。●基準価額は1万口当たりで表示しています。●上記組入比率は当ファンドの純資産総額に対する比率であり、現金等の保有を含んでいない関係および先物等を保有している関係で100%にならない場合があります。●上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

RM国内債券マザーファンド

実質的な投資対象	国内の債券	ベンチマーク	NOMURA-BPI総合
設定日	2015年12月11日	運用管理費用 (信託報酬)	-
運用会社	りそなアセットマネジメント株式会社		
運用の概要	国内の債券を主要投資対象とし、NOMURA-BPI総合の動きに連動する投資成果を目指します。		
選定のポイント	ファンド・オブ・ファンズにおける運用の効率化を目的とします。		

ポートフォリオの状況		特性値	
資産	組入比率	平均残存年数	9.38
債券	99.3%	最終利回り	1.40%
先物	0.0%	直接利回り	0.75%
現金等	0.7%	修正デュレーション	8.46
合計	100.0%	銘柄数	607

組入上位5銘柄				
	銘柄名	クーポン	償還日	組入比率
1	第148回利付国債（5年）	0.005%	2026/6/20	1.4%
2	第366回日本国債（10年）	0.200%	2032/3/20	1.2%
3	第153回利付国債（5年）	0.005%	2027/6/20	1.2%
4	第367回日本国債（10年）	0.200%	2032/6/20	1.2%
5	第362回利付国債（10年）	0.100%	2031/3/20	1.2%

RM先進国債券マザーファンド(為替ヘッジあり)

実質的な投資対象	世界主要国（日本を除く）の 公社債	ベンチマーク	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ・ 円ベース)
設定日	2016年10月6日	運用管理費用 (信託報酬)	-
運用会社	りそなアセットマネジメント株式会社		
運用の概要	日本を除く先進国の債券を主要投資対象とし、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。		
選定のポイント	ファンド・オブ・ファンズにおける運用の効率化を目的とします。		

ポートフォリオの状況		特性値		通貨別資産配分	
資産	組入比率	平均残存年数	8.97	通貨	組入比率
債券	99.6%	最終利回り	3.54%	米ドル	47.2%
先物	0.0%	直接利回り	2.91%	ユーロ	29.4%
現金等	0.4%	修正デュレーション	6.32	中国人民元	11.1%
合計	100.0%	為替ヘッジ比率	100.9%	英ポンド	5.2%
		銘柄数	997	その他	7.0%

組入上位5銘柄					
	銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	組入比率
1	US TREASURY N/B	アメリカ	4.250%	2034/11/15	0.5%
2	US TREASURY N/B	アメリカ	4.375%	2034/5/15	0.5%
3	US TREASURY N/B	アメリカ	4.125%	2032/11/15	0.4%
4	US TREASURY N/B	アメリカ	4.000%	2034/2/15	0.4%
5	US TREASURY N/B	アメリカ	4.500%	2033/11/15	0.4%

●上記組入比率は純資産総額に対する比率です。●為替ヘッジ比率は外貨建資産の時価総額に対する比率です。売買等の計上タイミングの影響や市場環境の急激な変動により、為替ヘッジ比率が100%にならない場合があります。

RM国内株式マザーファンド

実質的な投資対象	国内の株式	ベンチマーク	東証株価指数（TOPIX、配当込み）
設定日	2015年12月11日	運用管理費用（信託報酬）	－
運用会社	りそなアセットマネジメント株式会社		
運用の概要	国内の株式を主要投資対象とし、東証株価指数（TOPIX、配当込み）の動きに連動する投資成果を目指します。		
選定のポイント	ファンド・オブ・ファンズにおける運用の効率化を目的とします。		

ポートフォリオの状況		組入上位5業種	
資産	組入比率	業種	組入比率
株式	98.6%	電気機器	17.2%
先物	1.4%	銀行業	9.4%
現金等	-0.0%	情報・通信業	7.5%
合計	100.0%	輸送用機器	7.1%
		卸売業	6.6%

組入上位5銘柄			
	銘柄名	業種	組入比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.6%
2	ソニーグループ	電気機器	3.4%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.3%
4	日立製作所	電気機器	2.3%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.0%
銘柄数		1,693	

RMマネーマザーファンド

実質的な投資対象	国内の公社債等	ベンチマーク	－
設定日	2019年1月17日	運用管理費用（信託報酬）	－
運用会社	りそなアセットマネジメント株式会社		
運用の概要	金融市場の短期金利水準に応じた投資成果と流動性の確保を目指して運用を行います。		
選定のポイント	ファンド・オブ・ファンズにおける運用の効率化を目的とします。		

ポートフォリオの状況				
資産		組入比率		
債券		87.3%		
先物		0.0%		
現金等		12.7%		
合計		100.0%		

組入上位5銘柄				
	銘柄名	クーポン	償還日	組入比率
1	第 1 2 8 0 回国庫短期証券	0.00%	2025/4/14	14.6%
2	第 1 2 8 2 回国庫短期証券	0.00%	2025/4/21	14.6%
3	第 1 2 8 3 回国庫短期証券	0.00%	2025/4/28	14.6%
4	第 1 2 8 6 回国庫短期証券	0.00%	2025/5/12	14.6%
5	第 1 2 9 2 回国庫短期証券	0.00%	2025/6/9	14.5%

●上記組入比率は純資産総額に対する比率です。 ●業種は東証33業種の分類を基準としています。

RM先進国債券マザーファンド

実質的な投資対象	世界主要国（日本を除く）の 公社債	ベンチ マーク	FTSE世界国債インデックス （除く日本、円換算ベース）
設定日	2015年12月11日	運用管理費用 （信託報酬）	－
運用会社	りそなアセットマネジメント株式会社		

運用の概要	日本を除く先進国の債券を主要投資対象とし、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。		
選定のポイント	ファンド・オブ・ファンズにおける運用の効率化を目的とします。		

ポートフォリオの状況		特性値		通貨別資産配分	
資産	組入比率	平均残存年数	8.90	通貨	組入比率
債券	98.7%	最終利回り	3.51%	米ドル	46.7%
先物	0.0%	直接利回り	2.91%	ユーロ	29.2%
現金等	1.3%	修正デュレーション	6.27	中国人民元	11.1%
合計	100.0%	銘柄数	983	英ポンド	5.2%
				その他	7.8%

組入上位5銘柄					
	銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	組入比率
1	US TREASURY N/B	アメリカ	4.500%	2026/3/31	0.6%
2	US TREASURY N/B	アメリカ	3.875%	2034/8/15	0.5%
3	US TREASURY N/B	アメリカ	1.500%	2030/2/15	0.5%
4	US TREASURY N/B	アメリカ	4.000%	2027/12/15	0.5%
5	US TREASURY N/B	アメリカ	4.375%	2034/5/15	0.5%

RM新興国債券マザーファンド

実質的な投資対象	現地通貨建ての新興国の 公社債	ベンチ マーク	J PモルガンG B I－E M グローバル・ダイバーシファイド （円換算ベース）
設定日	2015年12月11日	運用管理費用 （信託報酬）	－
運用会社	りそなアセットマネジメント株式会社		

運用の概要	新興国の現地通貨建て債券を実質的な主要投資対象とし、J PモルガンG B I－E Mグローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。		
選定のポイント	ファンド・オブ・ファンズにおける運用の効率化を目的とします。		

ポートフォリオの状況		特性値		通貨別資産配分	
資産	組入比率	平均残存年数	7.80	通貨	組入比率
債券	99.8%	最終利回り	6.77%	インドネシアルピア	10.1%
先物	0.0%	直接利回り	5.82%	メキシコペソ	10.0%
現金等	0.2%	修正デュレーション	5.29	マレーシアリングギット	10.0%
合計	100.0%	銘柄数	1	中国人民元	9.9%
				その他	60.0%

組入上位3銘柄		
	銘柄名	組入比率
1	ISHARES JPM EM LCL GOV BND	99.8%
2	-	-
3	-	-

●上記組入比率は純資産総額に対する比率です。●国・地域はベンチマークの国・地域分類を基準に表示しています。
●R M新興国債券マザーファンドの特性値および通貨別資産配分は投資対象とするE T Fの構成銘柄を基に算出しています。

RM先進国株式マザーファンド

実質的な投資対象	世界主要国（日本を除く）の株式	ベンチマーク	MSCI-KOKUSAI 指数（配当込み、円換算ベース）
設定日	2015年12月11日	運用管理費用（信託報酬）	—
運用会社	りそなアセットマネジメント株式会社		

運用の概要	日本を除く先進国の株式を主要投資対象とし、MSCI-KOKUSAI 指数（配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。
選定のポイント	ファンド・オブ・ファンズにおける運用の効率化を目的とします。

ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	96.9%
先物	3.1%
現金等	-0.0%
合計	100.0%

国・地域別資産配分

国・地域	組入比率
アメリカ	75.6%
カナダ	3.1%
イギリス	3.0%
ドイツ	2.6%
その他	15.7%

組入上位5銘柄

	銘柄名	国・地域	組入比率	銘柄数	1,169
1	APPLE INC	アメリカ	4.9%		
2	NVIDIA CORP	アメリカ	4.0%		
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	4.0%		
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	2.7%		
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	1.9%		

RM新興国株式マザーファンド

実質的な投資対象	新興国の株式	ベンチマーク	MSCIエマージング・マーケット指数（配当込み、円換算ベース）
設定日	2015年12月11日	運用管理費用（信託報酬）	—
運用会社	りそなアセットマネジメント株式会社		

運用の概要	新興国の株式を主要投資対象とし、MSCIエマージング・マーケット指数（配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指します。
選定のポイント	ファンド・オブ・ファンズにおける運用の効率化を目的とします。

ポートフォリオの状況

資産	組入比率
株式	97.5%
先物	2.4%
現金等	0.0%
合計	100.0%

国・地域別資産配分

国・地域	組入比率
中国	30.4%
インド	17.8%
台湾	16.8%
韓国	8.9%
その他	26.1%

組入上位5銘柄

	銘柄名	国・地域	組入比率	銘柄数	1,225
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	8.6%		
2	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	5.2%		
3	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	中国	3.3%		
4	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	2.4%		
5	HDFC BANK LIMITED	インド	1.5%		

●上記組入比率は純資産総額に対する比率です。
●国・地域はベンチマークの国・地域分類を基準に表示しています。

◆ アセットマネジメントOneは、みずほFGと第一生命HDが出資している資産運用会社です。コーポレート・メッセージとして“投資の力で未来をはぐくむ”を掲げております。

- ・ 国内外の年金基金などに戦略的な運用商品をご提供する「投資顧問事業」における運用資産残高は国内最大級の規模を誇ります。そして公募ならびに私募投信を通じて、現役・退職準備世代、シニア世代の資産形成・生活資金ニーズ等にお応えする「投資信託事業」があります。
- ・ 運用資産残高は約74兆円（2024年12月末時点）とアジアトップクラスの規模を誇り、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等で機関投資家や個人投資家の多様な運用ニーズにお応えしています。
- ・ 運用力やリスク管理体制に高い質を求める機関投資家へ長年提供してきたサービスを、個人投資家のお客さまにご利用いただけること。これが当社の何よりの強みです。日本を代表する運用会社としての責任を果たすべく、私たちは資産運用の裾野の拡大に貢献してまいります。

アセットマネジメントOne株式会社の概要（2025年3月末）	
設 立	1985年7月
所 在 地	東京
社 員 数	927名（2024年12月末時点） （受入出向者を含み、他社・海外への出向者を除く。）
運用資産総額	74兆895億円（2024年12月末時点）
資 本 金	20億円
海外運用拠点	3カ所

◆ アムンディ・ジャパンは、欧州を代表する資産運用会社で世界トップ10にランクインするアムンディの主要拠点の一つであり、幅広い資産運用ソリューションを提供しています。

- ・ 世界で1億を超える、個人投資家、機関投資家および事業法人のお客さまに、伝統的資産や実物資産のアクティブおよびパッシブ運用による幅広い種類の資産運用ソリューションを提供し、金融バリューチェーン全体をカバーするITツールでサービスの強化を図っています。
- ・ 世界6つの運用拠点、財務・非財務のリサーチ能力および責任投資への長年の取り組みにより、アムンディは資産運用業界の中心的存在です。
- ・ 35カ国を超える国と地域で約5,700人の従業員の専門知識と助言をお客さまに提供しています。クレディ・アグリコル・グループ傘下で、ユーロネクスト・パリ市場に上場するアムンディは、現在、約370兆円の資産を運用しています。

アムンディ・ジャパン株式会社の概要（2024年12月末）	
設 立	1971年11月
所 在 地	東京
社 員 数	166名
運用資産総額	7兆9,907億円
資 本 金	12億円
海外運用拠点	5カ所

※上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

◆ アライアンス・バーンスタイン株式会社は、グローバルな資産運用業務を展開するアライアンス・バーンスタイン（以下「AB」）*の日本拠点です。

- AB*は、資産運用業務で50年以上の歴史と実績をもつ世界有数の資産運用会社です。日本においても30年以上の実績があり、日本市場に最も早く進出した外資系資産運用会社の一つです。資産運用のみに特化し、リサーチ力の強みをいかした特徴ある運用商品を提供しています。
- AB*は、株式、債券、マルチアセット、オルタナティブ運用など各戦略に強みを持つ充実した運用体制を擁し、世界の機関投資家、富裕層、個人投資家の皆様に、それぞれの国や地域のニーズに即した幅広い商品群と、質の高い投資運用サービスをご提供しています。
- AB*では、リサーチが運用プロセスの基盤であるとの考えに基づき、約300名のアナリストを擁する、業界屈指のリサーチ陣容を擁しています。

*アライアンス・バーンスタインおよびABには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

**アライアンス・キャピタル・マネジメント・ジャパン・インク（現アライアンス・バーンスタイン株式会社）の東京支店が投資顧問会社として日本において業務を開始した年です。

アライアンス・バーンスタイン株式会社の概要（2024年12月末）

設 立	1986年11月 **
所 在 地	東京
社 員 数	102名 (取締役6名、監査役1名、契約・派遣社員を含む)
運用資産総額	8兆1,994億円
資 本 金	16.3億円
海外運用拠点	27の国・地域、53都市

◆ SBI岡三アセットマネジメントは、SBIグループと岡三証券グループの合併会社です。

- SBI岡三アセットマネジメントは、資産運用を通じて「お客さまの豊かな人生を創る」ことを企業理念に掲げ、お客さまにご満足いただける資産運用サービスを提供し、お客さまから信頼いただける資産運用会社を目指しています。
- SBI岡三アセットマネジメントには、半世紀以上にわたり資産運用業に携わり蓄積されたノウハウがあります。そして商品開発においては、多くの地域応援ファンドの設定や、今までにも業界初となる商品設定をするなどの特色があります。

SBI岡三アセットマネジメント株式会社の概要（2025年3月末）

設 立	1964年10月
所 在 地	東京
社 員 数	123名
運用資産総額	1兆6,345億円
資 本 金	1億円
海外運用拠点	なし

※上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

◆ ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントは、150年超の長い歴史を持つ世界有数の金融グループであるゴールドマン・サックスの資産運用部門です。

- ・ ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントは、世界約30カ国に配した拠点到運用およびビジネス拠点を構え、世界の機関投資家、政府系機関、個人投資家、富裕層といったお客様に様々な資産クラス、業種、地域に渡る資産運用および投資助言サービスを提供しています。
- ・ 株式や債券だけでなく、多様な資産を投資対象とし、独自に運用する投資戦略、戦略的パートナーシップ、そして外部の運用機関に委託するオープン・アーキテクチャー・プログラムを通じて投資家の皆様に最適なソリューションをご提案します。
- ・ 約1,400名の運用プロフェッショナルから成る運用チームは、ゴールドマン・サックスの市場分析、リスク管理能力、そしてテクノロジーを活用しています。我々は、お客様が激しく変化する市場の波を乗り切るために、上質な投資機会とサービスのご提供を目指し、努力してまいります。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の概要（2024年12月末）	
設 立	1996年2月
所 在 地	東京
社 員 数	485名（役員4名及び兼職者含む）
運用資産総額	11兆3,658億円 *
資 本 金	4.9億円
海外運用拠点	約30カ国 （主に営業およびオペレーション業務に従事する拠点含む）

* 上記資産残高は、国内外投資一任および国内投資信託を対象として集計しております。国内投資一任口座における国内私募投信への再投資分は控除しております。

◆ JPMorgan Chase & Co.傘下の資産運用部門であるJ.P.モルガン・アセット・マネジメント（以下JPMAM）の日本法人です。

- ・ JPMAMは、世界約20カ国以上に展開し、ポートフォリオ・マネジャー、アナリスト等の運用プロフェッショナル約1,280名を含むグローバルなネットワークを擁しています。
- ・ グループにおける150年以上におよぶ歴史の中で蓄積した運用ノウハウと、グループが持つ情報優位性を最大限に活用し、常に競争力のある運用サービスを提供するとともに、グループ全体でお客様からの多様なニーズに取り組み、最適なサービスを提供できる体制を整えています。
- ・ AMJは、日本の法人として日本のお客様へ投資運用サービスをご提供しています。

*1：右記以外に、グループ会社との兼職者の内、法務・コンプライアンス部門、財務部門でAMJ業務の専任者が約15名在籍しております。

*2：AMJの受託資産総額。投資一任／投資助言（国内）、投資一任／投資助言（海外）、公募投資信託、私募投資信託、その他（第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業におけるオフショアファンドの取扱残高、並びに当社が業務の委託を受けているグループ会社が設定・運用するオフショアファンド及びその他グループ会社が関与する商品スキームの残高）の合算。

*3：2024年9月末時点。

JPMorgan Chase & Co.傘下の資産運用部門であるJ.P.モルガン・アセット・マネジメント株式会社の概要（2024年12月末）	
設 立	1990年10月
所 在 地	東京
社 員 数	182人 ^{*1}
運用資産総額	12兆4,423億円 ^{*2}
資 本 金	22.18億円 ^{*3}
海外運用拠点	約20カ国（運用拠点以外の拠点も含む）

※上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

◆ シュローダー・グループは、英国を本拠とする資産運用会社で創業約220年の歴史を有しています。グループの日本拠点では日本株式運用、日本顧客向け窓口業務を行っています。

- グループは、資産運用業務の豊富な経験と実績、世界的なネットワークを活用し、株式、債券、マルチアセット、プライベートアセット等の多様な投資機会を提案しています。また、年金基金、機関投資家、個人投資家等の幅広いニーズに応えるべく資産運用サービスを提供しています。
- グループは、欧州、北南米、日本、アジア、中東など世界主要都市に営業・運用拠点を据えています。運用拠点ではスペシャリストが日々現地の企業を訪問し、徹底した調査および分析を行い、これら情報が世界中で共有され、密接に連携したグローバル体制のもと運用に活かされています。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の概要 (2024年12月末)	
設 立	1991年12月
所 在 地	東京
社 員 数	88名（契約社員等を含む）
運用資産総額	1兆6,334億円 （日本拠点の投資一任・助言・設定投資信託）
資 本 金	4.9億円
海外運用拠点	38カ所 （日本を含むグループのネットワーク展開国・地域数）

◆ SOMPOアセットマネジメントは、1986年に設立された投信投資顧問会社で、設立から30年以上の歴史を有する運用会社です。

- SOMPOホールディングスの100%子会社であり、グループの資産運用の中核会社として、運用力とサービス力の向上に取り組んでいます。
- SOMPOアセットマネジメントは、お客さまの中長期的な資産形成に資する最高品質の商品・サービスを提案・提供し、「日本一お客さまのことを考える資産運用会社」になることを目指しています。

SOMPOアセットマネジメント株式会社の概要 (2024年3月末)	
設 立	1986年2月
所 在 地	東京
社 員 数	188名（2024年4月1日現在）
運用資産総額	投資顧問：2兆5,107億円 投資信託：2兆457億円
資 本 金	15.5億円
海外運用拠点	なし

※上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

◆ 大和アセットマネジメントは、わが国を代表する投資信託のリーディングカンパニーです。

- 大和アセットマネジメントは、株式投資信託・公社債投資信託のいずれの分野においても幅広く商品をラインナップし、わが国でトップクラスの運用資産規模を擁しています。
- 大和アセットマネジメントは、客観的な裏付けがあり、論理的に妥当な説明が可能で、かつ、将来にわたり再現性が高いと考えられる運用をおこないます。そのために、投資対象、市場、ならびに人間行動をより良く理解し、組織的な取り組みをおこないます。

大和アセットマネジメント株式会社の概要（2025年3月末）	
設 立	1959年12月
所 在 地	東京
社 員 数	698名（2024年4月1日）
運用資産総額	約33兆3,351億円 （投資信託・投資一任・助言契約残高の合計、 億円未満切捨て）
資 本 金	414億2,454万円
海外運用拠点	4ヵ所

◆ ニッセイアセットマネジメントは、長い歴史と実績を持つ日本生命グループの資産運用会社です。

確固たる運用哲学に基づいた、一貫して再現性の高い運用プロセス

- 徹底したボトムアップリサーチによる本源的価値の導出が、中長期的に優れたパフォーマンスに通じるという運用哲学をベースに、チーム運用による一貫した再現性の高い運用サービスを提供します。

日本生命グループの資産運用会社として有する運用ノウハウ

- 国内有数の機関投資家である日本生命グループの資産運用会社として設立された当社は、機関投資家としての高度な運用ノウハウを有しています。

お客様目線でのきめ細かいサービス

- ソリューションの提供を第一とし、個別勉強会の開催やポートフォリオ分析などのサービスメニューを揃えております。
- お客様と課題を共有し、要望や制約等を踏まえつつ、幅広いラインナップの中から課題解決に向けた商品を提案します。

ニッセイアセットマネジメント株式会社の概要（2025年3月末）	
設 立	1995年4月
所 在 地	東京
社 員 数	740名
運用資産総額	投資信託残高：9兆6,963億円 投資顧問残高：32兆8,382億円 （2024年12月末）
資 本 金	100億円
海外運用拠点	5ヵ所

※上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

◆ 野村アセットマネジメントは、内外の個人投資家および機関投資家の皆様から大切な運用資産をお預かりしている、わが国有数の運用会社です。

- ・「最高の付加価値の創造」、「高度な専門性の追求」、「信頼の獲得と社会への貢献」を3本の柱とし、常にお客様の最高のご満足と、深い信頼の獲得を目指します。
- ・独自に構築した運用力、情報力、計量分析システムを統合、高度な投資技術と個々の創意を結集して、組織的な運用を行います。
- ・常に世界の金融マーケット動向を捉えて、グローバルな視点から情報収集と運用に取り組み、最良の投資機会を求めます。

野村アセットマネジメント株式会社の概要（2025年3月末）	
設 立	1959年12月
所 在 地	東京
社 員 数	1,073名（国内のみ）
運用資産総額	62兆1,178億円 （投信のみ、億円未満切捨て）
資 本 金	171億8,035万円
海外運用拠点	8カ所

◆ フィデリティ投信は、フィデリティ・インターナショナルの一員として、投資信託および、企業年金や機関投資家向け運用商品やサービスを提供する資産運用会社です。

- ・1969年に外資系運用会社として初めて本邦に拠点を設け、日本企業の調査を開始。1990年より日本の年金向け運用業務に参入、1995年に証券投資信託委託業務免許を取得し、同年12月に最初の国内投資信託を設定しました。
- ・公募投資信託の純資産残高は約5兆8,671億円で、外資系運用会社では首位となります（2024年12月末日現在）。
- ・資産運用の専門知識と、私達独自のソリューションを組み合わせることで、より良い金融サービスの提供を目指しています。

フィデリティ投信株式会社の概要（2024年12月末）	
設 立	1986年
所 在 地	東京
社 員 数	164名
運用資産総額	98.3兆円 （グループ運用会社の運用資産総額、1ドル＝157.16円で計算）
資 本 金	10億円
海外運用拠点	25カ所以上

※上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

◆ フランクリン・テンプルトン・ジャパンは、米国フランクリン・リソーシズ・インク傘下の資産運用会社です。グループ全体で「フランクリン・テンプルトン」のブランドで業務を展開しています。

- ・ フランクリン・テンプルトンは、世界各国に拠点を有し、世界中の個人投資家や機関投資家の皆様に多種多様な運用商品と質の高いサービスを提供しております。
- ・ フランクリン・テンプルトン・ジャパンは、オーストラリア、米国、ブラジル等の単一国の債券や株式等に投資を行う戦略から、グローバル債券および株式戦略、さらには不動産など伝統的資産とは異なる特性を有する資産を対象とした戦略まで、お客様のニーズに合致した多様な運用スタイルを提供しています。
- ・ フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社は、グループ傘下の優れた運用子会社と密接に連携し、強力な海外とのコネクションを活用して、現地からの運用情報を迅速に提供することを目指します。

フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社の概要（2024年12月末）	
設 立	1998年4月
所 在 地	東京
社 員 数	67名
運用資産総額	2.9兆円
資 本 金	10億円
海外運用拠点	40か国以上

◆ 三井住友DSアセットマネジメントは、最高品質の運用パフォーマンスの提供、スチュワードシップ活動・ESG活動等を含む責任投資に対する積極的な取り組みにより、健全な資産運用業を通してお客さまのQuality of Lifeの向上とサステナブルな社会の実現に貢献します。

- ・ 資産運用のプロフェッショナル集団として、市場環境の変化に対応し、新しい運用技術を取り入れ、サステナビリティを考慮して、中長期的に安定的な収益を目指す最高品質の運用パフォーマンスを提供します。
- ・ アクティブ運用プロダクトにおいては、市場に存在する非効率性を明確にし、その非効率性を投資機会とするための一貫性のある運用プロセスを構築することで、超過収益を獲得します。
- ・ これらを実現するために「グローバルな独自リサーチによる非効率性の発見」、「プロフェッショナルなスキルに基づく適切なリスクテイク」、「多角的な視点に基づくリスク管理」、および「運用プロセス全体に亘る継続的な品質管理」を行います。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社の概要（2025年1月1日）	
設 立	1985年7月
所 在 地	東京
社 員 数	1,001名（海外拠点を含む）
運用資産総額	投資顧問：9兆3,294億円、投資信託：13兆9,284億円 [2024年12月末における資産残高(時価ベース、表示単位未満を四捨五入)]
資 本 金	20億円
海外運用拠点	4か所

※上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

◆ 三井住友トラスト・アセットマネジメントは、三井住友信託銀行の運用機能を統合して誕生した、日本そしてアジアで最大級の運用会社です。

- 運用機能統合を通じて、市場環境の変化やお客様のニーズに応じた最適な資産運用のソリューションを、様々なカタチでタイムリーにご提供しています。
- 時代にふさわしい資産運用の姿を追求するとともに、託していただいた資産の成長のために全力を注ぐという原点を見つめ、さらに誠実に取り組んでまいります。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社の概要 (2025年3月末)	
設 立	1986年11月
所 在 地	東京
社 員 数	691名
運用資産総額	93兆8,862億円
資 本 金	20億円
海外運用拠点	なし

◆ 三菱UFJアセットマネジメントは、MUFGグループにおける資産運用の中核会社であり、長い歴史の中で培った商品開発力や運用力、お客さまへのサポート力などを併せ持つ資産運用会社です。

- 「eMAXIS Slim」シリーズを中心としたノーロード・インデックスファンドによる積立投資の推進やアクティブ型投信、ESG運用等の商品の推進に注力しています。法人投資家向けには、私募、ETFを中心に様々なニーズに合わせた商品の設定・残高の拡大に努めています。
- 更には、2023年10月1日に実施したMU投資顧問の有価証券投資における運用・営業等の関連機能の統合を通じて、投資信託だけでなく投資一任業務など資産運用に係る幅広い業務を担っています。
- 個人・法人向けに幅広いソリューションを提供する総合運用会社を目指すと共に、量的だけでなく質的にも更なる成長の実現を目指していきます。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社の概要 (2025年3月末)	
設 立	1985年8月
所 在 地	東京
社 員 数	890名
運用資産総額	42兆1,525億円 (投資信託残高)
資 本 金	20億円
海外運用拠点	1カ所

※上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

◆ 明治安田アセットマネジメントは、明治安田生命グループの中核の資産運用会社です。

- ・ チームアプローチによる明確で一貫性のある運用プロセスと、厳格なリスクコントロールを通じて、高品質で安定性の高い運用サービスの提供を実践しております。
- ・ 運用ノウハウ・人財を結集することで付加価値を創造し、透明性の高い資産運用業務に取組むとともに、お客さまから長期にわたり信頼いただき、社会に貢献できる資産運用会社を目指してまいります。

明治安田アセットマネジメント株式会社の概要（2025年3月末）	
設 立	1986年11月
所 在 地	東京
社 員 数	214名 (非常勤役員4名含む、2025年4月1日)
運用資産総額	3兆5,250 億円（2024年12月末）
資 本 金	10億円
海外運用拠点	なし

◆ りそなアセットマネジメントは、「将来世代に対しても豊かさ、幸せを提供」することをパーパスに掲げ、お客さまの真のニーズにお応えする資産運用会社を目指しています。

- ・ 一貫した運用方針のもと、投資信託財産の運用を行い、お客さまの中長期的な資産形成に資する安定した付加価値創出を目指します。
- ・ 投資信託財産等の運用は、運用経験豊富なプロフェッショナルが担当します。また、管理部門・社内委員会を通じた運用行動・実績の検証に加え、社外取締役による第三者検証も行われる体制となっており、運用にかかる高い透明性を確保します。
- ・ 各種商品や制度等について、お客さまにご納得していただけるよう「わかりやすい」資料作成に努めております。

りそなアセットマネジメント株式会社の概要（2025年3月末）	
設 立	2015年8月
所 在 地	東京
社 員 数	202名（常勤役員を含む）
運用資産総額	2兆796億円（投資顧問を除く）
資 本 金	10億円
海外運用拠点	なし

※上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

◆ ロベコ・ジャパンは、1929年にオランダで設立され幅広い運用戦略をご提供する資産運用会社、ロベコ・グループ（以下「ロベコ」）の日本拠点です。

- ロベコはリサーチを全ての核と考え、設立以来「パイオニア精神と慎重さ」を両立させるアプローチに焦点を当てています。ロベコは、サステナビリティ投資やクオンツ運用の先進技術、継続的なイノベーションの有効性を確信し重視しています。
- 優れたソリューションを紡ぎ上げるには、革新性とパイオニア精神が求められます。このためロベコでは、1995年のサステナブル・ファンド設定などを含め、設立以来、常に新しいアイデアが奨励され受け入れられる企業文化を育んできました。
- ロベコ・ジャパン株式会社は、ロベコの日本における現地法人として、ロベコおよびグループ会社が永年にわたり培ってきた運用手法の数々を日本の投資家の皆様に提供しています。

ロベコ・ジャパン株式会社の概要（2024年12月末）	
設 立	2013年9月
所 在 地	東京
社 員 数	15名（グループ合計では1,057名）
運用資産総額	34兆8,450億円（ロベコ・グループ全体、1ユーロ＝162.74円で換算）
資 本 金	2億円
海外運用拠点	5カ所（運用チーム在籍拠点数）

◆ スパークス・アセット・マネジメントは、一貫した投資哲学と運用プロセスを実践する独立系運用会社です。

- スパークスは、1989年の創業以来、「マクロはミクロの集積である」という投資哲学の下、ボトムアップ・リサーチを行っております。また、親会社であるスパークス・グループ株式会社は、旧JASDAQ市場に2001年12月に資産運用会社として初めて上場いたしました。
- 創業時は日本の小型株運用からスタートしました。現在では、ロング・ショート戦略をはじめとする多様な日本株式投資戦略や、アジア株式運用、再生可能エネルギーへの投資、ベンチャー・キャピタルなど、長年蓄積した投資ノウハウを活用し、幅広い投資を行っています。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社の概要（2025年3月末）	
設 立	1989年7月 *
所 在 地	東京
社 員 数	213名（スパークス・グループ全体）
運用資産総額	1兆8,720億円（スパークス・グループ全体）
資 本 金	8,587百万円 *
海外運用拠点	2カ所

*スパークス・グループ株式会社の情報です。
(2006年10月にスパークス・アセット・マネジメント投信(株)は会社分割により持株会社体制に移行し、社名をスパークス・グループ(株)に変更するとともに、子会社であるスパークス・アセット・マネジメント(株)が、資産運用業務とそれに係る人員及び資産等を継承しております。)

※上記は委託会社が各運用会社からの情報提供に基づき作成しております。掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

ファンドの特色①

1

「FW専用ファンド（プレミアムコース）」は、原則として、投資者と株式会社りそな銀行が締結する投資一任契約に基づいて、資産を管理する口座の資金を運用するための専用ファンドです。

●「FW専用ファンド（プレミアムコース）」の受益権の取得申込者は、株式会社りそな銀行と投資一任契約を締結する必要があります。

2

「FW専用ファンド（プレミアムコース）」を構成する各ファンドは、複数の指定投資信託証券*を通じて実質的に投資を行うファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行いますが、一部はマザーファンドを通じて実質的に投資を行うファミリーファンド方式で運用を行います。

*「指定投資信託証券（投資対象ファンド）の一覧」はP1～P4をご覧ください。

3

各ファンドの運用方針は以下の通りです。

	ファンド名	運用方針
ファンド・オブ・ファンズ方式	FWりそな円建債券アクティブファンド	主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に国内債券や為替を対円でヘッジした先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
	FWりそな国内株式アクティブファンド	主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に国内株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
	FWりそな先進国債券アクティブファンド	主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
	FWりそな先進国＋新興国債券アクティブファンド	主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国債券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。あわせて新興国債券へも投資を行い付加価値獲得を目指します。
	FWりそな先進国株式アクティブファンド	主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
	FWりそな先進国＋新興国株式アクティブファンド	主として複数の指定投資信託証券への投資を通じ、実質的に日本を含む先進国株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。あわせて新興国株式へも投資を行い付加価値獲得を目指します。
	FWりそな絶対収益アクティブファンド	主として絶対収益*を追求する複数の指定投資信託証券への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 *「絶対収益」とは、特定の市場の変動の影響を受けない投資元本に対する収益を意味します。また、必ず収益を得られるという意味ではありません。
ファミリーファンド方式	FWりそな国内リートインデックスオープン	1. 国内の不動産投資信託証券を実質的な主要投資対象とし、東証REIT指数（配当込み）の動きに連動する投資成果を目指します。 2. RM国内リートマザーファンドを通じて、国内の不動産投資信託証券への投資を行います。
	FWりそな先進国リートインデックスオープン	1. 日本を除く先進国の不動産投資信託証券を実質的な主要投資対象とし、S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。 2. RM先進国リートマザーファンドを通じて、日本を除く先進国の不動産投資信託証券および不動産関連株式または先進国の不動産投資信託証券に関する指数を対象指数としたETF（上場投資信託証券）への投資を行います。 3. 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

※「りそなファンドラップ（プレミアムコース）」を構成する上記の各ファンドのうち、「FWりそな国内リートインデックスオープン」および「FWりそな先進国リートインデックスオープン」はファンド・オブ・ファンズ方式ではなく、マザーファンドを通じて実質的に投資を行うファミリーファンド方式で運用を行いますので、当資料で紹介している指定投資信託証券（投資対象ファンド）に投資を行っておりません。

ファンドの特色②

4

ファンド・オブ・ファンズにおける指定投資信託証券の選定については、株式会社大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、リそなアセットマネジメント株式会社が指定投資対象証券および投資比率の決定を行います。

資金動向、市況動向等に急激な変化が生じた場合、純資産総額が運用に支障をきたす水準となった場合および信託が終了する場合等のやむを得ない事情が発生したときは、上記 1 ~ 4 のような運用ができない場合があります。

■ 分配方針

原則、毎年9月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、以下の収益分配方針に基づいて分配を行います。

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。
 - ② 原則として、基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
 - ③ 留保益は、運用の基本方針に基づいて運用します。
- ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■ 基準価額の変動要因

各ファンドの基準価額は、実質的に組み入れている有価証券等の値動きにより影響を受けますが、運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また投資信託は預貯金と異なります。各ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。このため、お申込みの際は、各ファンドのリスクを認識・検討し、慎重にご判断くださいますようお願いいたします。

＜FWリそな円建債券アクティブファンド＞

市場 リスク	金利(債券価格)変動リスク	金利（債券価格）は、金融・財政政策、市場の需給、それらに関する外部評価の変化等を反映して変動します。債券の価格は、一般に金利が上昇（低下）した場合は値下がり（値上がり）します。債券価格が値下がりした場合は、基準価額の下落要因となります。
	為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、金利動向、政治情勢等のさまざまな要因により変動します。当ファンドは原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることとしていますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、為替変動の影響を受け、基準価額が下落する場合があります。また為替ヘッジを行う通貨の短期金利より円短期金利が低い場合には、その金利差相当分のコストがかかります。
	信用リスク	実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
	流動性リスク	時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。
	カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治や経済、社会情勢等の変化または金融取引等に関する規制の新設や変更により、実質的に組み入れている有価証券等の価格が大きく変動することがあります。そのため基準価額が予想以上に下落することや、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。

＜FWリそな国内株式アクティブファンド＞

市場 リスク	株価変動リスク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給、それらに関する外部評価の変化等を反映して変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
	信用リスク	実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
	流動性リスク	時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。

＜FWリそな先進国債券アクティブファンド＞

市場 リスク	金利(債券価格)変動リスク	金利（債券価格）は、金融・財政政策、市場の需給、それらに関する外部評価の変化等を反映して変動します。債券の価格は、一般に金利が上昇（低下）した場合は値下がり（値上がり）します。債券価格が値下がりした場合は、基準価額の下落要因となります。
	為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、金利動向、政治情勢等のさまざまな要因により変動します。当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。
	信用リスク	実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
	流動性リスク	時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。
	カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治や経済、社会情勢等の変化または金融取引等に関する規制の新設や変更により、実質的に組み入れている有価証券等の価格が大きく変動することがあります。そのため基準価額が予想以上に下落することや、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。

※各ファンドの基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

投資リスク②

＜FWリそな先進国＋新興国債券アクティブファンド＞

市場 リスク	金利(債券価格)変動リスク	金利（債券価格）は、金融・財政政策、市場の需給、それらに関する外部評価の変化等を反映して変動します。債券の価格は、一般に金利が上昇（低下）した場合は値下がり（値上がり）します。債券価格が値下がりした場合は、基準価額の下落要因となります。
	為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、金利動向、政治情勢等のさまざまな要因により変動します。当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。
	信用リスク	実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
	流動性リスク	時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。
	カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治や経済、社会情勢等の変化または金融取引等に関する規制の新設や変更により、実質的に組み入れている有価証券等の価格が大きく変動することがあります。そのため基準価額が予想以上に下落することや、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。

＜FWリそな先進国株式アクティブファンド＞

市場 リスク	株価変動リスク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給、それらに関する外部評価の変化等を反映して変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
	為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、金利動向、政治情勢等のさまざまな要因により変動します。当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。
	信用リスク	実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
	流動性リスク	時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。
	カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治や経済、社会情勢等の変化または金融取引等に関する規制の新設や変更により、実質的に組み入れている有価証券等の価格が大きく変動することがあります。そのため基準価額が予想以上に下落することや、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。

＜FWリそな先進国＋新興国株式アクティブファンド＞

市場 リスク	株価変動リスク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給、それらに関する外部評価の変化等を反映して変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
	為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、金利動向、政治情勢等のさまざまな要因により変動します。当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。
	信用リスク	実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
	流動性リスク	時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。
	カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治や経済、社会情勢等の変化または金融取引等に関する規制の新設や変更により、実質的に組み入れている有価証券等の価格が大きく変動することがあります。そのため基準価額が予想以上に下落することや、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。

※各ファンドの基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

投資リスク③

<FWリそな絶対収益アクティブファンド>

市場 リスク	株価変動リスク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給、それらに関する外部評価の変化等を反映して変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
	金利(債券価格)変動リスク	金利(債券価格)は、金融・財政政策、市場の需給、それらに関する外部評価の変化等を反映して変動します。債券の価格は、一般に金利が上昇(低下)した場合は値下がり(値上がり)します。債券価格が値下がりした場合は、基準価額の下落要因となります。
	為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、金利動向、政治情勢等のさまざまな要因により変動します。当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。
信用リスク		実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
流動性リスク		時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。
カントリーリスク		投資対象国・地域において、政治や経済、社会情勢等の変化または金融取引等に関する規制の新設や変更により、実質的に組み入れている有価証券等の価格が大きく変動することがあります。そのため基準価額が予想以上に下落することや、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。
デリバティブ取引 のリスク		実質的に組み入れている先物やオプション、スワップなどのデリバティブ取引の以下のようなリスクが顕在化した場合、基準価額の下落要因となります。 ・ 信用リスク：デリバティブの取引相手が倒産などによって当初の契約通りの取引を実行できなくなる可能性があります。 ・ 価額変動リスク：証拠金を積むなどによってレバレッジを効かせた結果、原資産の価格変動よりデリバティブの価格変動が大きくなる可能性があります。 ・ 流動性リスク：デリバティブの流動性の低下によって、理論価格よりも不利な価格でしか反対取引ができなかったり、反対取引自体ができない可能性があります。

<FWリそな国内リートインデックスオープン>

市場 リスク	リートの 価格変動リスク	リートの価格は、不動産市況(不動産価格、賃貸料等)、金利・景気動向、社会情勢の変化、関係法令・各種規制等の変更、災害等の要因により変動します。リートの価格および分配金がその影響を受け下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
信用リスク		実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
流動性リスク		時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。

※各ファンドの基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

＜FWリそな先進国リートインデックスオープン＞

市場 リスク	リーートの 価格変動リスク	リーートの価格は、不動産市況（不動産価格、賃貸料等）、金利・景気動向、社会情勢の変化、関係法令・各種規制等の変更、災害等の要因により変動します。リーートの価格および分配金がその影響を受け下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
	為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、金利動向、政治情勢等のさまざまな要因により変動します。当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。
信用リスク		実質的に組み入れている有価証券等の発行体が倒産した場合、発行体の財務状況が悪化した場合またはそれらが予想された場合等には、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなることにより、基準価額の下落要因となります。
流動性リスク		時価総額や取引量が少ない市場で流動性が低い場合、市場の混乱・取引規制等の理由から流動性が低下している場合、急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合等、市場実勢から期待できる価格よりも大幅に不利な価格で売買せざるを得ないことがあり、この場合、基準価額が下落する要因となります。
カントリーリスク		投資対象国・地域において、政治や経済、社会情勢等の変化または金融取引等に関する規制の新設や変更により、実質的に組み入れている有価証券等の価格が大きく変動することがあります。そのため基準価額が予想以上に下落することや、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意点

- FWリそな国内リートインデックスオープンは、マザーファンドへの投資を通じて東証REIT指数（配当込み）（以下、本項において「指数」といいます。）に連動する投資成果を目指して運用しますが、主として以下の理由から、当ファンドの投資成果は指数の動きから乖離する場合があります。
 - ・ 指数を構成する全ての銘柄を指数の算出方法どおりに組み入れない場合や、指数を構成する銘柄以外の銘柄や先物を組み入れる場合があること。
 - ・ 有価証券等の売買価格や基準価額算出に使用される有価証券等の時価が、指数の算出に使用される有価証券等の時価と一致しない場合があること。
 - ・ 運用管理費用（信託報酬）、監査費用および有価証券等の売買にかかる売買委託手数料等の費用負担が発生すること。
- FWリそな先進国リートインデックスオープンは、マザーファンドへの投資を通じてS&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）（以下、本項において「指数」といいます。）に連動する投資成果を目指して運用しますが、主として以下の理由から、当ファンドの投資成果は指数の動きから乖離する場合があります。
 - ・ 指数を構成する全ての銘柄を指数の算出方法どおりに組み入れない場合や、指数を構成する銘柄以外の銘柄や先物を組み入れる場合があること。
 - ・ 有価証券等の売買価格や基準価額算出に使用される有価証券等の時価が、指数の算出に使用される有価証券等の時価と一致しない場合があること。
 - ・ 外貨取引時の為替レートや基準価額算出に使用される為替レートが、指数の算出に使用される為替レートと一致しない場合があること。
 - ・ 運用管理費用（信託報酬）、監査費用および有価証券等の売買にかかる売買委託手数料等の費用負担が発生すること。
- 「FWリそな国内リートインデックスオープン」および「FWリそな先進国リートインデックスオープン」は、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、各ファンドと同じマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドの追加設定・解約により資金の流出入が生じた場合、その結果として、当該マザーファンドにおいても組入有価証券の売買等が生じ、各ファンドの基準価額に影響をおよぼすことがあります。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響をおよぼす可能性や、換金のお申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後は純資産が減少し、基準価額が下落する要因となります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- ファンドは、預金や保険契約ではなく、預金保険機構、保険契約者保護機構の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う場合、投資者保護基金の補償対象ではありません。

ファンドの費用

■ 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	ありません。	信託財産留保額	ありません。
--------	--------	---------	--------

■ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

ファンド名	運用管理費用(信託報酬)		
	ファンド①*	投資対象とする投資信託証券②	実質的に負担する運用管理費用の概算値①+②**
FWリそな円建債券 アクティブファンド	年率0.3575%(税抜0.325%)	年率0%~0.4730%程度(税抜0%~0.4300%程度)	年率0.3575%~0.8305%程度 (税抜0.3250%~0.7550%程度)
FWリそな国内株式 アクティブファンド	年率0.3575%(税抜0.325%)	年率0%~0.7150%程度(税抜0%~0.6500%程度)	年率0.3575%~1.0725%程度 (税抜0.3250%~0.9750%程度)
FWリそな先進国債券 アクティブファンド	年率0.3575%(税抜0.325%)	年率0%~0.5610%程度(税抜0%~0.5500%程度)	年率0.3575%~0.9185%程度 (税抜0.3250%~0.8750%程度)
FWリそな先進国+新興国債券 アクティブファンド	年率0.3575%(税抜0.325%)	年率0%~0.8140%程度(税抜0%~0.7400%程度)	年率0.3575%~1.1715%程度 (税抜0.3250%~1.0650%程度)
FWリそな先進国株式 アクティブファンド	年率0.3575%(税抜0.325%)	年率0%~0.9625%程度(税抜0%~0.8750%程度)	年率0.3575%~1.3200%程度 (税抜0.3250%~1.2000%程度)
FWリそな先進国+新興国株式 アクティブファンド	年率0.3575%(税抜0.325%)	年率0%~0.9900%程度(税抜0%~0.9000%程度)	年率0.3575%~1.3475%程度 (税抜0.3250%~1.2250%程度)
FWリそな絶対収益 アクティブファンド	年率0.3575%(税抜0.325%)	年率0%~1.1000%程度(税抜0%~1.0000%程度)	年率0.3575%~1.4575%程度 (税抜0.3250%~1.3250%程度)

*信託期間を通じて毎日費用として計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産から支払われます。委託会社が受取る運用管理費用には、投資助言会社(株式会社大和ファンド・コンサルティング)に対する報酬が含まれております。

**値は目安であり、ファンドにおける実際の投資信託証券の組入状況により変動します。またFWリそな円建債券アクティブファンドについては日々の純資産総額に応じて変動します。

ファンド名	運用管理費用(信託報酬)***	ファンド名	運用管理費用(信託報酬)***
FWリそな国内リート インデックスオープン	年率0.330%(税抜0.300%)	FWリそな先進国リート インデックスオープン	年率0.440%(税抜0.400%)

***信託期間を通じて毎日費用として計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき、信託財産から支払われます。

その他の費用・手数料	監査費用、有価証券等の売買にかかる売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税および信託事務の処理に必要な諸費用等(これらの消費税等相当額も含まれます。)は、その都度(監査費用は日々)ファンドが負担します。これらその他の費用・手数料は、信託財産の運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額またはその計算方法の概要等を記載することができません。
------------	--

※上場投資信託証券、上場不動産投資信託証券は市場の需給により価格形成されるため、これら費用を表示することができません。

※上記の手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

当資料使用に際してのご留意事項

当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするためにリそなアセットマネジメント株式会社が作成したものです。投資信託のご購入にあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面を販売会社よりお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。なお、以下の点にもご留意ください。

- 当資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用ができない場合があります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権、その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

■委託会社

リそなアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第2858号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
お問い合わせ：0120-223351（営業日の午前9時～午後5時） ホームページ：<https://www.resona-am.co.jp/>

■受託会社

株式会社リそな銀行

■販売会社

募集・販売の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）などの書面の交付、換金申込みの受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・償還金の支払いなどを行います。

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第7号	○		○	
株式会社京葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第56号	○			
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第593号	○		○	
株式会社七十七銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社十六銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第7号	○		○	
株式会社みなと銀行	登録金融機関 畿財務局長(登金)第22号	○		○	
株式会社横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号	○		○	
株式会社りそな銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第3号	○	○	○	

■投資助言会社

株式会社大和ファンド・コンサルティング

指定投資信託証券の選定について、情報提供および助言を行います。